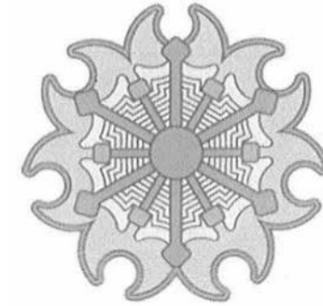


令和五年版

消防年報

宮古地区広域行政組合消防本部



消防年報

令和5年版

(令和6年8月刊行)

宮古地区広域行政組合
消防本部

は し が き

この消防年報は、令和5年（一部令和6年度）中における宮古地区広域行政組合管内の消防業務及び諸般の現況を収録したもので、その実態を紹介し、消防体制についてご理解をいただくとともに今後の参考に編さんしたものであります。

令和6年8月

宮古地区広域行政組合消防本部

目 次

I 組合の概要

組合消防の沿革	1
宮古地区広域行政組合消防本部の組織	9
宮古広域管内の概況	10

II 業 務

第1 総 務	11
1 職 員	11
2 研 修	11
3 表 彰	11
第2 予 防	12
1 予防査察	12
2 防火管理	12
3 消防用設備等の規制	12
4 防火対象物定期点検報告制度	13
5 防災規制	13
6 防火対象物表示制度	13
7 危険物規制	13
8 住宅防火対策	14
第3 警 防	14
1 消防車両	14
2 消防水利	14
第4 通 信	14
1 通信指令センター	14
2 ホームページ	14
第5 火 災	15
第6 救急・救助	15
1 救急業務の概要	15
2 救急出動件数	15
3 緊急消防援助隊	15
4 防災ヘリ・ドクターヘリによる救急搬送	16
5 救助活動状況	16

III 総 務

過去5か年歳入歳出決算額の推移	17
令和6年度宮古地区広域行政組合（消防分）当初予算	18
広域管内状況	19
消防本部及び消防署所の配置図	20
消防庁舎施設状況	21
職員の配置状況・岩手県消防学校教育派遣状況・消防大学校及び救急救命士教育派遣状況	25
階級別年齢・勤続年数	26
年度別消防職員数の推移・職員の年齢構成	27
消防職員技術資格取得状況	28

IV 予 防

防火対象物の現況	29
消防用設備等設置状況	30
用途別建築同意処理状況	31
用途別建築同意件数・過去5年間の建築同意の推移	32
危険物施設の現況・危険物施設の査察実施状況	33
危険物関係事務処理状況・危険物関係手数料徴収状況	34

V 警 防

管内消防力の現況	35
署別消防車両等配置状況	36
署別主力機械の現況	37
市町村別消防水利の現況	38

VI 通 信

通信施設配置状況	39
管轄所属・回線別災害等通報状況	40
デジタル無線基地局・簡易基地局等エリア概略図	41
気象予警報・津波予報等発表状況	42

VII 救急・救助

月別救急活動状況	43
救急活動の推移（過去10年間）	44
所属別救急活動状況・現場到着所要時間別出動状況・収容所要時間別搬送状況	45
時間別出動件数・時間別搬送状況	46
傷病程度別搬送人員・年齢別搬送人員	47
所属別救助活動状況	48
救助活動の推移（過去10年間）	49
所属別救助出動（活動）人員状況・救助出動（活動）車両状況	50

VIII 火 災

火災の概況	51
市町村別火災発生状況	52
火災原因別出火件数・四季別火災発生件数・火災覚知別件数	53
累年の火災発生件数と損害額	54

IX 消 防 団

広域市町村別消防力の現況・在職年数別消防団員数・年齢別消防団員数	55
管内消防団の組織	56

I 組合の概要

組合消防の沿革

昭和47年7月	宮古地区広域市町村圏協議会を結成
昭和48年4月	宮古地区広域道路舗装組合を設立
昭和49年4月	道路舗装組合と合併、名称を宮古地区広域消防等組合と改称し圏内の中核である宮古市に消防本部と宮古消防署を地域的事務を分掌させるため、田老町、田野畑村、新里村、川井村にそれぞれ宮古消防署の分署を新設、山田町には従来からの山田町消防団常備消防部を消防署に昇格させ、岩泉町に消防署を新設して広域消防を発足した。
昭和49年12月	釜石海上保安部と業務協定（船舶及び流出油の火災について）
昭和50年5月	岩手県内の一部事務組合及び市と消防相互応援協定を締結
昭和50年7月	盛岡地区広域行政事務組合と川井村大字田代地区の救急業務応援協定を締結
昭和55年3月	規約の変更により名称を宮古地区広域消防組合に改められる。 （許可昭和55年5月1日）
昭和56年4月	宮古地区広域消防組合事務局を消防本部に統合し、消防本部の機構を三課制に改正した。
昭和56年6月	消防本部、宮古消防署新庁舎を竣工（鉄筋コンクリート造り3階建て、建築延べ面積2,899.61㎡ 工事費558,000千円）
昭和56年10月	消防本部、宮古消防署新庁舎に移転業務開始
昭和59年4月	宮古消防署に24m級はしご付消防ポンプ自動車配置 1台
昭和59年4月	宮古消防署に救急車更新配置 1台
昭和59年11月	宮古消防署川井分署に救急車更新配置 1台
昭和59年11月	宮古消防署に救助工作車新規配置 1台（クレーン・ウインチ・主照明灯装置付）
昭和60年3月	空中消火等補給基地竣工（宮古市赤前地内） 総事業費 177,243千円 1. ヘリコプター離発着用広場 18,357㎡ 2. 貯水槽、40m ³ ×2基 3. 資機材保管等施設 4. 空中消火用資機材
昭和60年5月	空中消火等補給基地開き（現地）にて引き続き落成式と祝賀会を開催
昭和61年1月	岩泉消防署に山林スプレーヤー配置 1台
昭和61年1月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車新規配置 1台
昭和61年3月	宮古消防署田老分署に救急車更新配置 1台
昭和61年3月	宮古消防署新里分署に救急車更新配置 1台
昭和61年3月	岩手県内一部事務組合及び市と締結している消防相互応援協定に救急及び救助事務を加える。
昭和61年12月	宮古消防署に資機材搬送車更新配置 1台
昭和61年12月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1台
昭和62年2月	宮古消防署田野畑分署に救急車更新配置 1台
昭和62年3月	山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1台
昭和62年3月	岩泉消防署に消防指導車更新配置 1台
昭和62年3月	宮古消防署新里分署に消防指導車更新配置 1台
昭和62年3月	宮古消防署川井分署に消防指導車更新配置 1台
昭和62年7月	宮古地区広域消防組合に宮古地区広域市町村圏協議会、宮古下閉伊食肉処理組合、岩泉町、田野畑村伝染病隔離病舎組合及び陸中衛生処理組合を統合して宮古地区広域行政組合を発足した。
昭和62年10月	宮古消防署田老分署に小型動力ポンプ（B3級）新規配置 1台
昭和62年11月	山田消防署に消防指導車を新規配置 1台
昭和62年11月	山田消防署に救急車更新配置 1台
昭和63年2月	宮古消防署水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1台
昭和63年3月	宮古消防署救急車（4WD）更新配置 1台

昭和 63 年 10 月	宮古消防署田野畑分署に消防指導車（4WD）更新配置 1 台
昭和 63 年 11 月	宮古消防署田老分署庁舎水槽付消防ポンプ自動車配置に伴う増改築
昭和 63 年 11 月	宮古消防署川井分署庁舎老朽化により屋上部の改築
平成 元 年 1 月	宮古消防署田老分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 元 年 1 月	宮古消防署川井分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 元 年 10 月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1 台
平成 元 年 10 月	宮古消防署新里分署に小型動力ポンプ（B3級）新規配置 1 台
平成 元 年 10 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I）更新配置 1 台
平成 2 年 10 月	岩泉消防署に小型動力ポンプ（B3級）新規配置 1 台
平成 3 年 1 月	山田消防署に資機材搬送車新規配置 1 台
平成 3 年 3 月	宮古消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型新規配置 1 台
平成 3 年 3 月	岩泉消防署庁舎増改築
平成 3 年 3 月	宮古消防署田老分署庁舎改築
平成 3 年 3 月	宮古消防署新里分署庁舎増改築
平成 3 年 10 月	宮古消防署川井分署に小型動力ポンプ（B3級）更新配置 1 台
平成 4 年 2 月	岩泉消防署に救急車（4WD）更新配置 1 台
平成 4 年 3 月	宮古消防署田野畑分署庁舎改築
平成 4 年 3 月	宮古消防署田老分署にホース乾燥塔設置
平成 4 年 11 月	宮古消防署に乗用車更新配置 1 台
平成 5 年 1 月	岩泉消防署に消防指導車更新配置 1 台 無線機移動局 1 基配置
平成 5 年 1 月	宮古消防署新里分署に消防ポンプ自動車（CD-I 型）更新配置 1 台
平成 5 年 2 月	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 5 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 6 年 3 月	十二神山無線中継局開局
平成 6 年 4 月	宮古消防署に高規格救急自動車配置 1 台（損害保険協会寄贈）
平成 6 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 6 年 6 月	高規格救急自動車運用開始
平成 7 年 1 月	宮古消防署に指令車更新配置 1 台
平成 7 年 1 月	宮古消防署に救助用資機材新規配置 一式
平成 7 年 2 月	山田・岩泉消防署に高規格救急自動車新規配置 各一式
平成 7 年 3 月	宮古消防署に高度救急教育訓練資機材新規配置 1 台
平成 7 年 4 月	山田消防署新庁舎竣工
平成 7 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 8 年 2 月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1 台
平成 8 年 2 月	宮古消防署川井分署に高規格救急自動車更新配置 一式
平成 8 年 2 月	岩泉消防署及び宮古消防署田老分署、新里分署に救助用資機材新規配置 各一式
平成 8 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 8 年 7 月	宮古消防署にマイクロバス更新配置 1 台
平成 8 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 9 年 2 月	山田・岩泉消防署に消防指導車更新配置 各 1 台
平成 9 年 2 月	宮古消防署田老・新里分署に高規格救急自動車新規配置 各一式
平成 9 年 2 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I 型 4WD）配置 1 台
平成 9 年 3 月	山田消防署に小型動力ポンプ付水槽車新規配置 1 台
平成 9 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 9 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 10 年 1 月	宮古消防署田野畑分署に救助用資機材新規配置 一式
平成 10 年 3 月	宮古消防署及び宮古消防署田野畑分署に高規格救急自動車更新配置 各一式 （宮古消防署には災害対応特殊救急自動車）
平成 10 年 3 月	山田消防署に救助工作車（Ⅱ型）新規配置 1 台
平成 10 年 3 月	山田消防署に消防ポンプ自動車（CD-I 型 4WD）更新配置 1 台

平成 10 年 3 月 宮古消防署田老分署・新里分署・川井分署に消防指導車を更新配置 各 1 台
 平成 10 年 3 月 岩泉消防署消防緊急通信指令装置更新整備
 平成 10 年 4 月 災害時対応として消防無線用受信機を全職員に貸与
 平成 10 年 11 月 救急救命士資格取得 1 名
 平成 11 年 2 月 山田消防署に消防指導車更新配置 1 台
 平成 11 年 3 月 宮古消防署田野畑分署に消防指導車更新配置 1 台
 平成 11 年 3 月 山田消防署に高規格救急自動車更新配置 (2 台目) 一式
 平成 11 年 5 月 救急救命士資格取得 1 名
 平成 11 年 10 月 宮古消防署に広報車を更新配置 1 台
 平成 11 年 11 月 救急救命士資格取得 1 名
 平成 12 年 3 月 宮古消防署川井分署に 119 番通報受付装置を新規整備
 平成 12 年 3 月 山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (水-II 型) を更新配置 1 台
 平成 12 年 3 月 宮古消防署田野畑分署に水槽付消防ポンプ自動車 (水-II 型) を更新配置 1 台
 平成 12 年 5 月 救急救命士資格取得 1 名
 平成 12 年 6 月 平津戸無線中継局開局
 平成 12 年 8 月 山田消防署に小型動力ポンプ (B3 級) 新規配置 1 台
 平成 12 年 11 月 救急救命士資格取得 1 名
 平成 13 年 3 月 消防本部消防緊急通信指令施設 (I 型) 更新整備
 平成 13 年 3 月 宮古消防署に消防ポンプ自動車 (CD-I 型 4WD) 更新配置 1 台
 平成 13 年 3 月 岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置 (2 台目) 一式
 平成 13 年 4 月 消防本部消防緊急通信指令施設運用開始
 平成 13 年 4 月 宮古地区広域行政組合消防本部ホームページ開設
 平成 13 年 4 月 消防本部の組織改正により指令課を新設し、同課に指令第一係・指令第二係を設置して、3 課 5 係体制とする。また、課長補佐・主査制度を導入する。消防署の組織改正により、分署に係長制度を導入し、併せて消防署次席を副署長に、分署長代理を副分署長に改称する。
 平成 13 年 4 月 消防本部消防計画策定
 平成 13 年 4 月 岩手県内の一部事務組合及び市と締結している消防相互応援協定の全部改正し、火災原因調査支援体制を追加した。
 平成 13 年 5 月 救急救命士資格取得 1 名
 平成 13 年 6 月 消防本部行政改革大綱策定
 平成 13 年 10 月 宮古消防署に消防指導車配置 1 台
 平成 13 年 11 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 14 年 1 月 職員定数条例を 183 名から 253 名に改正施行
 平成 14 年 3 月 宮古消防署に屈折はしご付消防ポンプ自動車 (20m 級) 更新配置 1 台
 平成 14 年 3 月 小松山無線中継局開局
 平成 14 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 14 年 8 月 宮古消防署に小型動力ポンプ (B3 級) 更新配置 1 台
 平成 14 年 8 月 宮古消防署田老分署に小型動力ポンプ (B3 級) 更新配置 1 台
 平成 14 年 8 月 宮古消防署田野畑分署に小型動力ポンプ (B3 級) 新規配置 1 台
 平成 14 年 9 月 消防本部ネットワークシステム運用開始
 平成 14 年 10 月 宮古消防署に資機材搬送車 (クレーン付) 更新配置 1 台
 平成 14 年 10 月 岩泉消防署に指導車更新配置 1 台
 平成 14 年 11 月 宮古消防署庁舎暖房配管改修工事竣工
 平成 14 年 11 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 15 年 3 月 宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 15 年 3 月 宮古消防署川井分署に資機材搬送車新規配置 1 台
 平成 15 年 3 月 宮古地区広域メディカルコントロール協議会設立
 平成 15 年 4 月 宮古消防署川井分署新庁舎竣工
 平成 15 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名

平成 15 年 10 月 交代制勤務を二部制から三部制に移行する。
 平成 15 年 10 月 山田消防署に資機材搬送車（クレーン付）更新配置 1 台
 平成 15 年 11 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 16 年 3 月 宮古消防署に救助工作車（Ⅱ型）更新配置 1 台
 平成 16 年 3 月 岩泉消防署に消防ポンプ自動車（CD-I 型 4WD）更新配置 1 台
 平成 16 年 3 月 消防本部の組織改正により指令課を廃止し、総務課に職員係を設置して、2 課 4 係体制とする。
 平成 16 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 16 年 11 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 17 年 3 月 宮古消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型 4WD）更新配置 1 台
 平成 17 年 3 月 宮古消防署川井分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型 4WD）更新配置 1 台
 平成 17 年 4 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 17 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 17 年 10 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 17 年 11 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 18 年 1 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 18 年 1 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 18 年 3 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 18 年 3 月 宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 18 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 18 年 6 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 18 年 7 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 18 年 9 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 18 年 10 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 18 年 12 月 天ヶ森無線中継局機器更新工事完成
 平成 18 年 12 月 宮古消防署新里分署に小型動力ポンプ（B 3 級）更新配置 1 台
 平成 18 年 12 月 宮古消防署に消防指導車更新配置 1 台
 平成 19 年 1 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 19 年 3 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 19 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
 平成 19 年 6 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 19 年 7 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 19 年 9 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 19 年 9 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 20 年 2 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 20 年 2 月 岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 20 年 2 月 宮古消防署川井分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 20 年 3 月 宮古消防署補助訓練塔改修
 平成 20 年 4 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 20 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
 平成 20 年 6 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 20 年 8 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 20 年 9 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 20 年 10 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 20 年 11 月 山田消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 20 年 11 月 岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
 平成 20 年 11 月 宮古消防署田老分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
 平成 20 年 12 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 21 年 2 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 21 年 3 月 119 番集中受付（田老・新里）運用開始

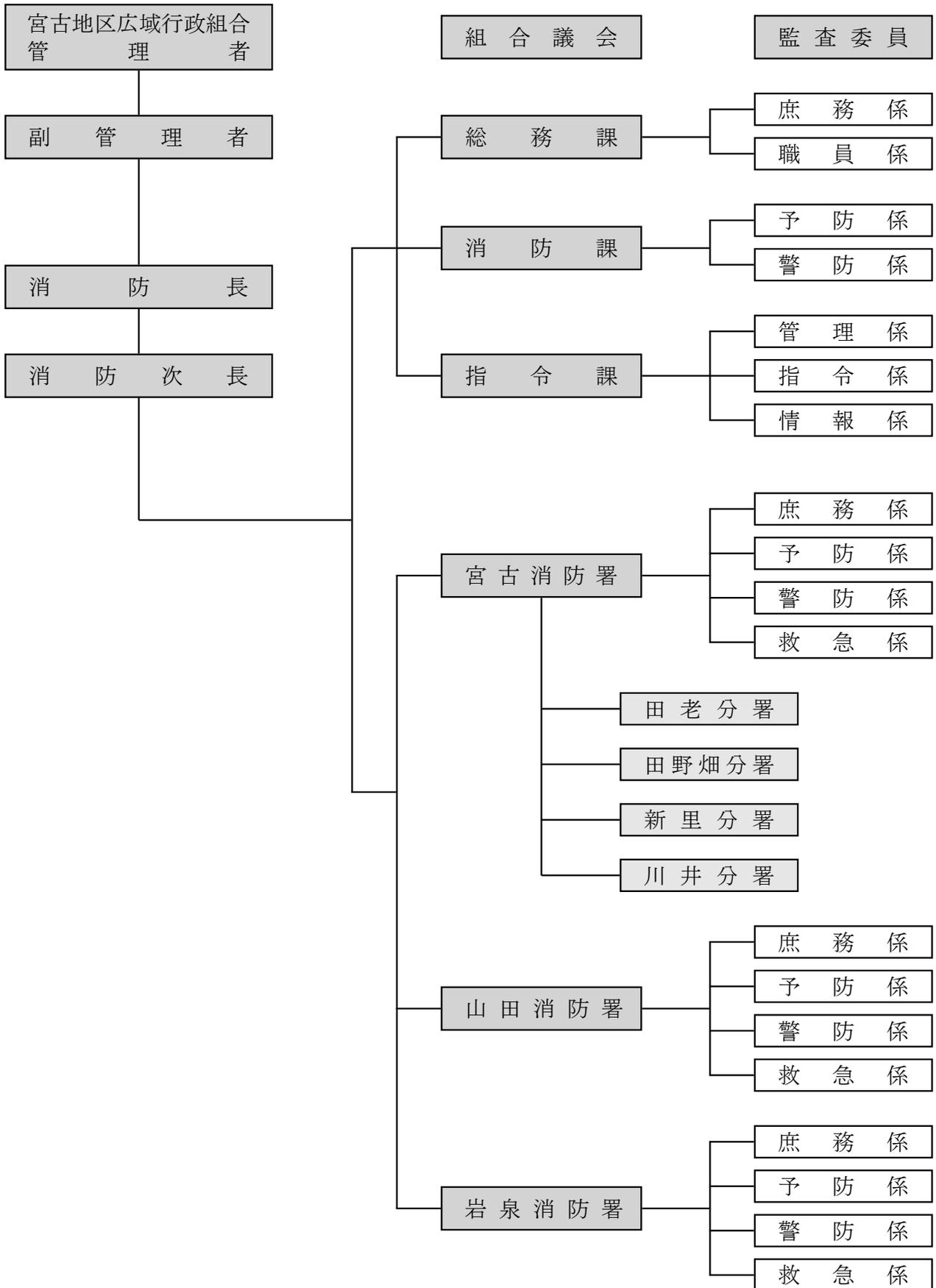
平成 21 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
 平成 21 年 5 月 宮古消防署プールろ過機改修
 平成 21 年 6 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 21 年 6 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 21 年 8 月 宮古消防署に空気充填コンプレッサー更新配置
 平成 21 年 9 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 21 年 9 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 21 年 9 月 宮古消防署に広報車更新配置 1 台
 平成 21 年 12 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 21 年 12 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 22 年 2 月 岩泉消防署下水道管接続
 平成 22 年 3 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 22 年 3 月 宮古消防署に小型動力ポンプ付水槽車更新配置 1 台
 平成 22 年 3 月 岩泉消防署に指導車更新配置 1 台
 平成 22 年 3 月 宮古消防署田老分署及び新里分署に高規格救急自動車更新配置 各 1 台
 平成 22 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
 平成 22 年 6 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 22 年 7 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 22 年 7 月 宮古消防署に業務車更新配備 1 台
 平成 22 年 9 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 22 年 9 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 22 年 11 月 岩泉消防署庁舎耐震診断実施
 平成 22 年 12 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 22 年 12 月 宮古消防署川井分署に指導車更新配置 1 台
 平成 23 年 1 月 宮古消防署新里分署車庫増築 (37.26m²)
 平成 23 年 2 月 宮古消防署及び新里分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 各 1 台
 平成 23 年 3 月 宮古消防署及び田野畑分署に高規格救急自動車更新配置 各 1 台
 平成 23 年 3 月 東北地方太平洋沖地震大津波襲来 (東日本大震災)
 職員 4 名殉職、1 名負傷、山田消防署庁舎半壊、田老分署全壊、車両 8 台損壊、
 空中消火等補給基地全壊
 平成 23 年 3 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 23 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
 平成 23 年 5 月 救急救命士薬剤投与認定 2 名
 平成 23 年 6 月 救急救命士薬剤投与認定 1 名
 平成 23 年 6 月 宮古消防署庁舎耐震診断実施
 平成 23 年 7 月 東日本大震災消防職員合同慰霊祭挙行
 平成 23 年 8 月 宮古消防署川井分署に小型動力ポンプ更新配置 1 台
 平成 23 年 10 月 宮古消防署田野畑分署に指導車更新配置 1 台
 平成 23 年 10 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 23 年 11 月 宮古消防署田老分署に小型動力ポンプ更新配置 (東日本大震災被災ポンプ) 1 台
 平成 23 年 12 月 宮古消防署に高規格救急自動車配置 (名古屋市寄贈) 1 台
 平成 23 年 12 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 23 年 12 月 宮古消防署田老分署仮設車庫災害復旧工事完了
 平成 24 年 2 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 24 年 2 月 宮古消防署田老分署に指導車更新配置 (東日本大震災被災車両) 1 台
 平成 24 年 3 月 宮古消防署に指導 2 号車更新配置 (東日本大震災被災車両) 1 台
 平成 24 年 3 月 山田消防署に指導 1 号車更新配置 (東日本大震災被災車両) 1 台
 平成 24 年 3 月 山田消防署に指導 2 号車更新配置 (東日本大震災被災車両) 1 台
 平成 24 年 3 月 山田消防署に資機材搬送車更新配置 (東日本大震災被災車両) 1 台
 平成 24 年 3 月 山田消防署に小型動力ポンプ更新配置 (東日本大震災被災ポンプ) 1 台

平成 24 年 3 月 宮古消防署田老分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置（東日本大震災被災車両） 1 台
 平成 24 年 3 月 宮古消防署田老分署に高規格救急自動車更新配置（東日本大震災被災車両） 1 台
 平成 24 年 3 月 東日本大震災による消防職員殉職者追悼式挙行
 平成 24 年 3 月 119 番集中受付（川井）運用開始
 平成 24 年 3 月 山田消防署庁舎災害復旧工事完了
 平成 24 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 24 年 5 月 救急救命士薬剤投与認定 3 名
 平成 24 年 9 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 24 年 11 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 25 年 3 月 宮古消防署に高規格救急自動車更新配置（東日本大震災被災車両） 1 台
 平成 25 年 3 月 東日本大震災による消防職員殉職者追悼式挙行
 平成 25 年 5 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 25 年 5 月 救急救命士薬剤投与認定 2 名
 平成 25 年 7 月 岩泉消防署庁舎増改築工事竣工
 平成 25 年 10 月 宮古消防署庁舎改修工事竣工
 平成 25 年 11 月 宮古消防署構内舗装補修工事竣工
 平成 26 年 1 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 26 年 2 月 宮古消防署新里分署に指導車更新配置 1 台
 平成 26 年 3 月 東日本大震災による消防職員殉職者追悼式挙行
 平成 26 年 3 月 岩泉消防署に資機材搬送車新規配置 1 台
 平成 26 年 3 月 山田消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 26 年 3 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 26 年 3 月 消防救急デジタル無線工事竣工（災害復旧）
 平成 26 年 3 月 宮古消防署庁舎屋根防水等改修工事竣工
 平成 26 年 3 月 宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I 型）更新配置 1 台
 平成 26 年 4 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 26 年 4 月 救急救命士薬剤投与認定 2 名
 平成 26 年 8 月 宮古消防署車庫シャッター修繕
 平成 26 年 9 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 26 年 11 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 26 年 12 月 宮古消防署新里分署庁舎耐震診断実施
 平成 27 年 1 月 宮古消防署田野畑分署庁舎移転（田野畑村中央防災センター）
 平成 27 年 2 月 岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
 平成 27 年 3 月 宮古消防署消防緊急通信指令施設修繕
 平成 27 年 3 月 宮古消防署に指令車更新配置 1 台
 平成 27 年 4 月 救急救命士資格取得 2 名
 平成 27 年 8 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 27 年 10 月 宮古消防署暖房用オイル配管修繕
 平成 28 年 2 月 岩泉消防署に消防指導車更新配置 1 台
 平成 28 年 3 月 宮古消防署田老分署新庁舎竣工（災害復旧）
 平成 28 年 5 月 救急救命士資格取得 3 名
 平成 28 年 8 月 台風 10 号襲来（太平洋側から上陸）
 職員 1 名負傷、岩泉消防署庁舎床上浸水
 平成 28 年 10 月 消防無線アナログ設備解体撤去工事竣工
 平成 28 年 11 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 28 年 12 月 12 誘導心電図伝送システム運用開始
 平成 28 年 12 月 宮古消防署に指導 1 号車更新配置 1 台
 平成 29 年 1 月 救急救命士気管挿管実習認定 1 名
 平成 29 年 1 月 宮古消防署田野畑分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
 平成 29 年 2 月 宮古消防署に人員輸送車更新配置 1 台

平成 29 年 2 月	宮古消防署庁舎耐震補強工事竣工
平成 29 年 3 月	山田消防署に小型動力ポンプ付水槽車更新配置 1 台
平成 29 年 3 月	岩泉消防署に救助工作車（Ⅱ型）新規配置 1 台
平成 29 年 4 月	消防本部に「通信指令センター」を設置し、広域管内全ての通信指令業務を専任職員体制により一元化。消防本部の組織改正により指令課を新設し、同課に管理係、指令係、情報係を設置して3課7係体制とする。
平成 29 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 29 年 8 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 29 年 10 月	指導救命士認定 3 名
平成 29 年 12 月	山田消防署及び岩泉消防署、宮古消防署田野畑分署の119番通報受付集中化に伴い消防緊急通信指令システム改修工事竣工
平成 29 年 12 月	宮古消防署庁舎1階屋上防水改修工事竣工
平成 30 年 1 月	山田消防署新庁舎竣工（災害復旧）
平成 30 年 2 月	宮古消防署車庫排ガス排出システム改修工事竣工
平成 30 年 3 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型 4WD）更新配置 2 台
平成 30 年 3 月	山田消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型 4WD）更新配置 1 台
平成 30 年 3 月	山田消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 30 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 30 年 5 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 30 年 7 月	指導救命士認定 1 名
平成 30 年 8 月	宮古消防署川井分署庁舎屋根塗装修繕
平成 30 年 8 月	宮古消防署田野畑分署に救助用資機材配置
平成 30 年 9 月	空気ボンベ用高圧コンプレッサー新規配置 1 台
平成 30 年 11 月	宮古消防署補助訓練塔改修工事竣工
平成 31 年 1 月	宮古消防署川井分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 31 年 2 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 31 年 3 月	宮古消防署に資機材搬送車更新配置 1 台
平成 31 年 3 月	宮古消防署川井分署に資機材搬送車更新配置 1 台
平成 31 年 3 月	山田消防署に救助工作車（Ⅱ型）更新配置 1 台
平成 31 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
令和 元年 6 月	宮古消防署庁舎外壁修繕
令和 元年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 元年 9 月	宮古消防署田野畑分署に小型動力ポンプ更新配置 1 台
令和 2 年 2 月	岩泉消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型 4WD）更新配置 1 台
令和 2 年 3 月	宮古消防署新里分署庁舎移転（宮古市役所新里庁舎）
令和 2 年 3 月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配置 1 台
令和 2 年 3 月	宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 2 年 3 月	山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配置 1 台
令和 2 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
令和 2 年 4 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 2 年 6 月	救急車両用オゾン除菌装置を救急車全車両に新規配置 11 台
令和 2 年 9 月	宮古消防署新里分署及び川井分署に救助用資機材配置
令和 2 年 9 月	消防無線アナログ毛無森中継局解体撤去工事竣工
令和 2 年 11 月	旧新里分署庁舎解体撤去工事竣工
令和 3 年 1 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 3 年 2 月	消防緊急通信指令装置（情報系）改修工事竣工
令和 3 年 3 月	宮古消防署に救助工作車（Ⅱ型）更新配置 1 台
令和 3 年 3 月	岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 3 年 3 月	宮古地区広域行政組合消防本部ホームページリニューアル
令和 3 年 4 月	救急救命士資格取得 1 名

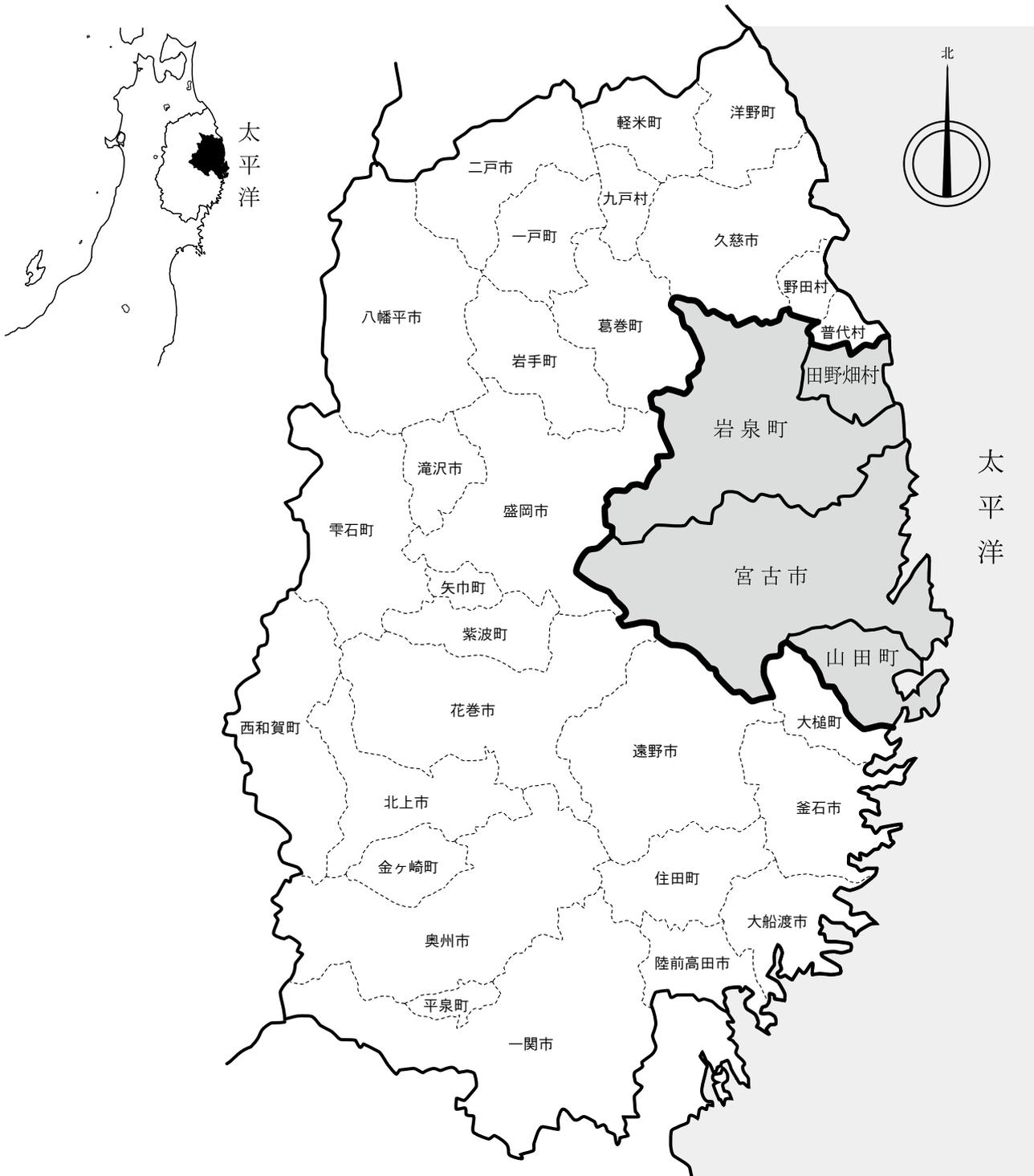
令和 3 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 3 年 10 月	宮古消防署非常用予備発電装置ラジエター修繕工事竣工
令和 3 年 10 月	宮古消防署にボートトレーラー新規配置 1 台
令和 3 年 10 月	山田消防署にボートトレーラー新規配置 1 台
令和 3 年 10 月	宮古消防署地下タンクライニング等工事竣工
令和 3 年 10 月	宮古消防署浴室等改修工事竣工
令和 3 年 11 月	無人航空機（ドローン）を導入し、運用開始
令和 4 年 1 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 4 年 2 月	宮古消防署変電設備修繕工事竣工
令和 4 年 3 月	宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 2 台
令和 4 年 4 月	救急救命士資格取得 4 名
令和 4 年 8 月	宮古消防署屈折はしご付消防ポンプ自動車伸縮シリンダー修繕
令和 4 年 10 月	指導救命士認定 1 名
令和 5 年 3 月	山田消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 5 年 3 月	宮古消防署田野畑分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 5 年 3 月	宮古消防署新里分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 5 年 3 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 5 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
令和 5 年 7 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 5 年 8 月	宮古消防署川井分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配置 1 台
令和 5 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 6 年 2 月	宮古消防署田老分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 6 年 2 月	宮古消防署に屈折はしご付消防自動車更新配置 1 台
令和 6 年 3 月	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配置 1 台

宮古地区広域行政組合消防本部の組織



宮古広域管内の概況

宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の1市2町1村で構成され、宮古市に消防本部1、消防署1、分署3(田老地区、新里地区、川井地区)、山田町及び岩泉町に消防署が各1、田野畑村に分署1が設置されています。



II 業 務

第1 総務

1 職員

(1) 令和6年4月1日現在の現員数は、次のとおりです。

定員	現員数
253人	202人

(2) 職員の採用状況

令和6年4月1日付け7人採用

2 研修

令和5年度研修計画に基づき実施した研修は、次のとおりです。

研修区分		回数	人員
派遣研修	消防大学校	1	1
	岩手県消防学校	10	36
	救急救命東京研修所	2	2
一般職員研修	人事事務研修	1	1
	財務事務研修	1	1
	財産管理事務研修	1	1
	法規事務研修	1	1
	メンタルヘルス研修	1	1
	監督者級研修	1	4
合計		19	48

3 表彰

令和5年度の職員表彰状況は、次のとおりです。

区 分		人員
消防庁長官	永年勤続功労章	1
岩手県知事	功績章	3
管理者	勤続章	5
	功績章	5
全国消防長会	永年勤続表彰(30年)	6
全国消防長会東北支部	永年勤続表彰(20年)	6
日本消防協会	功績章	1
	精績章	1
	勤続章	8
岩手県消防協会	功労章	1
	功績章	2
	内助功労	1
全国消防協会	全国優良消防職員表彰	1

第2 予 防

社会の発展とともに防火対象物の形態が多様化してきたことにより、災害の発生形態も同様に複雑化、大規模化してきています。

このような状況に対応するため、当消防本部では次の予防業務の施策を重点的に推進し、火災予防の普及に努めています。

1 予防査察

防火対象物の消防用設備等の適正な設置、維持管理及び防火管理業務の執行状況等について、「当組合査察規程」に基づき査察を実施しました。

令和5年度における査察実施状況は、次のとおりです。

	1号対象物	2号対象物	3号対象物	合 計
査察実施件数	511	627	338	1,476
対 象 物 数	708	1,978	393	3,079

2 防火管理

(1) 防火管理の指導

防火管理者の選任義務のある防火対象物の管理権原者に対し、防火管理上必要な業務の実施について積極的な指導を行い、防火管理業務の適正な執行及び防火安全対策の強化に努めています。

(2) 防火管理再講習

規模の大きな防火対象物の防火管理者に対し、複雑多様化する防火対象物や防災設備等の高度化への順応を図るとともに消防法令の改正等の把握など、防火管理業務を適切に実施、又は維持していくための必要な知識、技能の更新を図るため、法令に基づき防火管理再講習を実施しました。

令和5年度における防火管理再講習の実施状況は、次のとおりです。

種 別	実 施 期 間	修了者
甲種防火管理再講習	令和5年6月23日	14人

3 消防用設備等の規制

(1) 消防用設備等の着工及び設置等の届出

消防用設備等は、火災による被害の軽減を図るという消防の目的を達成するため、防火対象物の関係者が一定基準に従って消防用設備等を設置し、適正な維持管理が確保されることが必要であることから、該当対象物について消防用設備等の着工及び設置の届出の徹底を図っています。

令和5年度の着工及び設置の届出状況は、次のとおりです。

種 別	着 工 届	設 置 届
消 火 設 備	6	89
警 報 設 備	26	54
避 難 設 備		29
合 計	32	172

(2) 消防用設備等の点検結果報告

消防用設備等は、常にその機能を発揮できるよう定期点検の実施と報告が義務づけられていることから、適正な点検の励行と点検結果の報告の徹底について指導しています。

令和5年度の点検結果報告の状況は、次のとおりです。

区 分	点検を要する防火対象物	報告済防火対象物
特定防火対象物	777	579
非特定防火対象物	1,985	1,086
合 計	2,762	1,665

4 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の者が利用する防火対象物のうち一定の規模又は条件に該当するものについては、防火対象物点検資格者が防火対象物点検基準に基づいて点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければなりません。

また、優良防火対象物にあつては申請に基づいて点検報告制度の特例を認定した場合に「防火優良認定証」を付することができます。

要 点 検 対 象 物	点 検 報 告 数	特 例 認 定 数
108	22	82

5 防災規制

高層建築物、劇場、遊技場、旅館、病院等不特定多数の者や社会的弱者が利用する防災防火対象物で使用するカーテン、どん帳、展示用合板、じゅうたん等の防災対象物品については、所定の防災性能を有する防災物品を使用するよう指導しています。

令和6年4月1日現在の防災防火対象物における防災物品の使用状況は、次のとおりです。

防災防火対象物数	カーテン等		じゅうたん等		展示用合板等	
	防災品 使用	防災品 未使用	防災品 使用	防災品 未使用	防災品 使用	防災品 未使用
719	602	117	479	240	470	249

6 防火対象物表示制度

一定規模以上の宿泊施設を対象とし「適マーク」を表示することで、安全・安心な宿泊施設を選択、利用していただくことを目的としています。

関係者からの任意による申請に基づいて、防火安全に関する基準に適合していると認められた場合に「表示マーク（銀）」（有効期間1年間）が交付され、さらに3年間継続して適合していると認められる場合は「表示マーク（金）」（有効期間3年間）が交付されます。

令和5年度までに「表示マーク（金）」を交付された宿泊施設は、8施設です。

なお、「適マーク」の交付を受けた宿泊施設の名称は、当消防本部のホームページで閲覧できます。

7 危険物規制

危険物の事故防止のため、危険物施設等に対して施設の位置、構造及び設備並びに危険物の貯蔵、取扱いの技術上の基準の適合と保安体制の確立を図るため指導しています。

8 住宅防火対策

近年の火災による死者は、その殆どが住宅火災によるもので、放火自殺者を除いて特に高齢者が犠牲になる割合が極めて高い状況にあります。

今後、更なる高齢化の進行を踏まえ、住宅火災の防止と焼死者をなくするため住宅防火対策の推進が重要であり、特に高齢者世帯については婦人防火クラブ、消防団と協力して防火指導及び住宅用火災警報器の設置促進を図っています。

火災予防条例に基づく住宅用火災警報器は、平成23年6月1日から義務設置となっていますが、設置年数が経過したものは電池等の劣化により、正常に作動しない可能性が危惧されています。当消防本部では関係機関との連携を密にし、住宅用火災警報器の定期的な交換について周知しています。

第3 警 防

1 消防車両

複雑多様化かつ多岐にわたる各種災害事象に対処するため消防活動の充実強化を重点とし、宮古地区広域行政組合消防施設整備計画に基づき、令和5年度は屈折はしご付消防自動車1台、水槽付ポンプ車2台、高規格救急車1台を更新し、活動体制の強化を図りました。

令和6年4月1日現在の車両の保有状況は次のとおりです。

合計 (台)	消防 ポン プ 車	水 槽 付 ポン プ 車	化 学 消 防 ポン プ 車	消 屈 折 は し ご 付 自 動 車	高 規 格 救 急 車	救 助 工 作 車	水 槽 付 小 型 動 力 ポン プ 車	指 揮 車	資 機 材 搬 送 車	指 導 車 等	ト ボ レ ー ラ ー ト
52	5	7	1	1	11	3	2	3	4	13	2

2 消防水利

消防本部管内の消防水利は、消火栓988基、防火水槽794基、これに池・河川・海等を加えると消防水利の総数は、1,826基となっています。

第4 通 信

1 通信指令センター

当消防本部の通信指令センターは、緊急通報の受付、出動隊の自動編成を迅速かつ正確に行う指令台及び自動出動指定装置、通報者の位置情報を取得し災害地点を特定する位置情報通知装置、地図等検索装置等で構成する指令システムと消防救急デジタル無線設備により各管制業務を行っています。

また、外国人旅行者や音声による通話が困難な方からの緊急通報に対応するため、多言語通訳業務及びNet119緊急通報システムを導入しています。

2 ホームページ

平成13年に消防本部のホームページ (<https://fire.miyako.iwate.jp/>) を開設し、各種情報の提供を行っています。

第5 火 災

令和5年における総出火件数は28件（前年比3件減）となっています。

また、火災による死者は1人（前年比1人減）、負傷者は9人（前年比2人増）発生しています。出火率（人口1万人あたりの出火件数）は、3.9件（前年比0.2件減）となっています。

第6 救急・救助

1 救急業務の概要

救急業務が昭和38年に法制化されたことに伴い、昭和43年10月からスタートした宮古市消防署救急隊は、昭和49年4月の広域化とともに構成市町村全域に拡大、現在は3署4分署に高規格救急車11台、救急救命士60名（うち気管挿管認定41名、薬剤投与認定52名）を配置し、増大する救急需要への体制を確保するとともに、関係機関と連携のうえ住民に対する応急手当普及員講習会や普通救命講習等を実施し、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）が応急手当を行うことで、生存率や社会復帰率の向上が図られるよう普及啓発活動を推進しています。

2 救急出動件数

令和5年中の当消防本部出動件数は4,047件、搬送人員は3,648人となっています。

出動件数は、令和4年中3,615件と比較し432件の増加、事故種別ごとに見ると、急病が最も多く全体の約75%を占め、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

3 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時において、人命救助活動をより効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

その後、平成15年6月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化され、令和6年4月1日現在、全国で6,661隊（重複登録を除く）が登録されており、指揮支援部隊、航空部隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊、都道府県大隊（都道府県大隊指揮隊、消火中隊、救助中隊、救急中隊、後方支援中隊等）の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。

その内、当消防本部は消火小隊4隊、救助小隊1隊、救急小隊3隊、後方支援小隊1隊の計9隊が消防庁に登録されています。

平成23年に発生した東日本大震災においては、名古屋市消防局指揮支援部隊が県庁調整本部、横浜市消防局指揮支援隊、秋田県大隊が当消防本部管内で活動しています。また、県内消防相互応援協定に基づき、盛岡地区広域消防組合消防本部が当消防本部管内で活動を行っています。

平成28年の台風10号による豪雨災害においては、仙台市消防局指揮支援部隊が県庁調整本部、東京消防庁指揮支援隊、青森県大隊、宮城県大隊、県内消防相互応援隊（県内10消防本部）が当消防本部管内で活動を行っています。

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震においては、岩手県大隊18隊65名のうち、当消防本部から消火小隊、救急小隊、後方支援小隊の3隊10名を北海道厚真町へ派遣し、行方不明者の捜索及び救急搬送等の活動を行っています。

令和5年11月18日、19日の両日、今後発生が危惧されている日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波等の大規模災害を想定した、「令和5年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」を当消防本部管内を主会場として実施しました。

本訓練は、緊急消防援助隊の災害活動における活動技術の向上及び連携活動能力の向上を目的に、毎年、全国を6ブロックに区分し実施しており、岩手県は、北海道東北ブロック（北海道、東北6県及び新潟県）に属し、本県では8年ぶり、沿岸部では初開催となります。当日は、北海道東北ブ

ロックから消防機関223隊848名、関係機関43隊322名、合計226隊1,170名が集結し、2日間にわたり実践的な訓練を行い、応援及び受援体制の実効性の検証と緊急消防援助隊と関係機関相互の連携強化を図りました。

4 防災ヘリ・ドクターヘリによる救急搬送

岩手県では航空消防体制の整備を目的として、平成8年3月に防災ヘリ「ひめかみ」を導入し、平成8年10月1日から運航を開始しました。以来、広大な面積を保有する本県の「空からの消防防災活動」に活躍しています。防災ヘリは救急活動のほか、災害防御活動、救助活動、広域航空消防応援活動、災害予防活動等を行っています。

当消防本部管内で発生した令和5年中の防災ヘリ等による活動については、林野火災、救助活動により4件（前年比2件減）出動要請しております。

また、平成24年5月8日からは岩手県ドクターヘリが運航を開始しました。ドクターヘリは、専門の医療機器などを搭載し、医師や看護師が搭乗、救急現場から傷病者を治療しながら迅速に医療機関まで搬送します。

当消防本部管内で発生した令和5年中のドクターヘリによる救急搬送件数は22件（前年比4件減）となっています。

5 救助活動状況

消防機関の行う救助活動は、沿革的には火災時における人命救助を原点としています。

現在は経済、社会活動の変化及び高規格道路の整備に伴い交通事故や労働災害、爆発事故、水難事故など複雑・特異化した災害に及んでいます。

当消防本部では、宮古消防署、山田消防署及び岩泉消防署に救助工作車を、他の署々には初動活動に必要な油圧救助器具などを配置しています。

令和5年中の出動件数は31件（前年比4件増）で交通事故が15件（50%）を占めており、救助人員は16人となっています。

Ⅲ 総 務

過去5か年歳入歳出決算額の推移

1. 歳入合計

(単位：千円)

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算額	対前年度増減率 構成比								
分金及び金	1,950,125	97.4	1,902,042	95.9	1,833,314	96.4	1,934,618	97.3	2,114,232	94.7
負担金										
手数料及び料	739	0.0	742	0.0	1,218	0.1	723	0.0	479	0.0
国庫支出金	24,244	1.2	38,185	1.9	15,257	0.8	0	0.0	0	0.0
県支出金	9,427	0.5	7,376	0.4	7,495	0.4	15,797	0.8	8,036	0.4
財産収入	3,629	0.2	1,214	0.1	2,107	0.1	2,530	0.1	4,207	0.2
寄付金										
繰越金	14,527	0.7	32,731	1.7	42,545	2.2	34,618	1.8	106,060	4.7
諸収入	576	0.0	717	0.0	759	0.0	565	0.0	871	0.0
組合債										
歳入合計	2,003,267	100	1,983,007	100	1,902,695	100	1,988,851	100	2,233,885	100

2. 歳出合計

(単位：千円)

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算額	対前年度増減率 構成比								
消費防費	1,969,034	99.9	1,940,463	100.0	1,868,076	100.0	1,882,791	100.0	2,202,283	100.0
公債費	1,503	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳出合計	1,970,537	100	1,940,463	100	1,868,076	100	1,882,791	100	2,202,283	100

令和6年度宮古地区広域行政組合(消防分)当初予算

歳 入

(単位：千円)

款	本 年 度		前 年 度		比 較
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
分担金及び負担金	2,456,015	99.6	2,129,014	99.6	327,001
使用料及び手数料	704		1,004		△300
国庫支出金					
県支出金	8,172	0.4	7,988	0.4	184
財産収入	1		1		
繰越金					
諸収入					
組合債					
合 計	2,464,892	100	2,138,007	100	326,885

歳 出

(単位：千円)

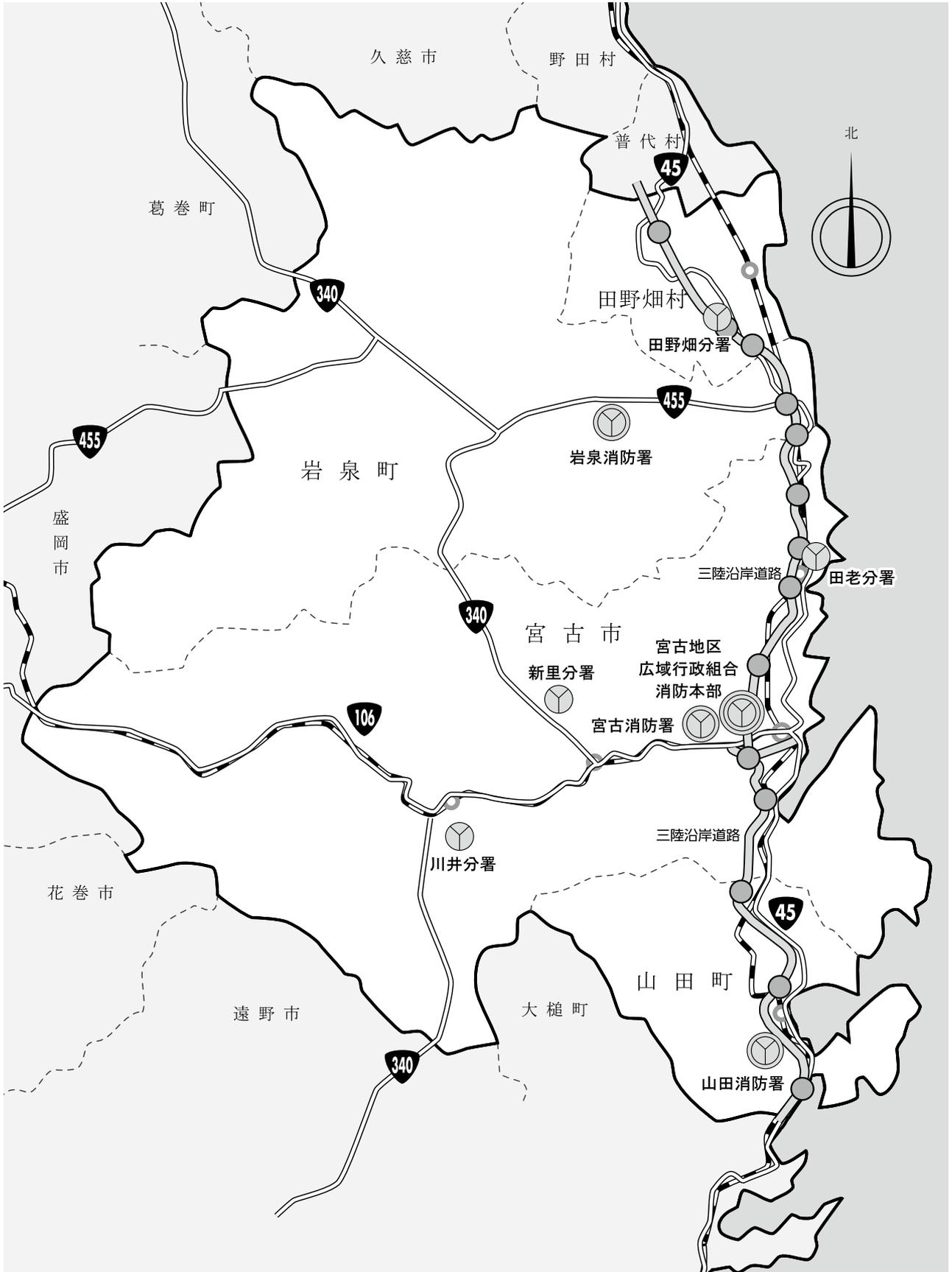
款	本 年 度		前 年 度		比 較	本年度の財源内訳			
	予算額	構成比	予算額	構成比		特 定 財 源			一般財源
						国庫及び県支出金	地方債	その他	
消 防 費	2,464,891	99.9	2,138,006	99.9	326,885	8,172			2,456,719
災害復旧費	1	0.1	1	0.1	0				1
公 債 費									
合 計	2,464,892	100	2,138,007	100	326,885	8,172			2,456,720

広域管内状況

令和6年4月1日現在

署別		総数	消防本部	宮古消防署	田老分署	田野畑分署	新里分署	川井分署	山田消防署	岩泉消防署
区分										
人口		71,288		39,671	2,566	2,933	2,206	1,888	14,076	7,948
世帯数		34,468		19,322	1,204	1,343	1,015	1,047	6,435	4,102
面積 (km ²)		2,670.54		338.77	101.05	156.19	256.29	563.07	262.81	992.36
密度 (1km ² 当り)	人口	26.7		117.1	25.4	18.8	8.6	3.4	53.6	8.0
	世帯数	13		57.0	11.9	8.6	4.0	1.9	24.5	4.1
消防吏員数		202	25	54	13	16	13	16	33	32
消防ポンプ自動車台数		16		7	1	1	1	1	3	2
消防吏員 1人当り		人口	352.9人		世帯数	170.6世帯		面積	13.2km ²	

消防本部及び消防署所の配置図



消防庁舎施設状況

令和6年4月1日現在

1. 消防本部・宮古消防署



所在地:宮古市五月町2番1号

建築年月:昭和56年10月

敷地面積:11,900.23m²

主な施設

- 訓練塔(地上6階高さ28m)及び補助訓練塔
- 自家用給油所(ガソリン・軽油)
- ヘリポート(訓練場兼用)

構造:鉄筋コンクリート3階建

庁舎面積:2,899.61m²

○通信指令センター



2. 宮古消防署田老分署



所在地:宮古市田老三王一丁目1番2号

建築年月:平成28年3月

敷地面積:2,150.79m²

構造:鉄骨造平屋建

庁舎面積:400.10m²

3. 宮古消防署田野畑分署



所在地:下閉伊郡田野畑村菅窪43番地4(田野畑村中央防災センター)

建築年月:平成26年12月

敷地面積:2,321.55m²

構造:鉄骨造2階建

庁舎面積:736.14m²

4. 宮古消防署新里分署



所在地:宮古市茂市第2地割112番地1(宮古市役所新里庁舎)
建築年月:昭和56年8月 構造:鉄筋コンクリート3階建(庁舎棟)
敷地面積:8,336.74m² :鉄骨造平屋建(車庫棟)
供用開始:令和2年3月 供用面積:庁舎棟(325.78m²)
(新里庁舎2階及び車庫棟の一部) 車庫棟(234.0m²)

5. 宮古消防署川井分署



所在地:宮古市川井第5地割102番地1
建築年月:平成15年3月 構造:鉄筋コンクリート2階建
敷地面積:1,754.68m² 庁舎面積:699.67m²

6. 山田消防署



所在地: 下閉伊郡山田町飯岡第1地割21番地4

建築年月: 平成30年2月

構造: 鉄筋コンクリート2階建

敷地面積: 6,705.77m²

庁舎面積: 1,406.56m²

主な施設

・訓練塔(地上6階高さ19.3m)及び補助訓練塔

7. 岩泉消防署



所在地: 下閉伊郡岩泉町岩泉字中野40番地50

建築年月: 昭和50年3月

構造: 鉄骨モルタル2階建

敷地面積: 989.53m²

庁舎面積: 888.55m²

その他: 平成3年3月(全面増改築) 平成9年3月(待機室増築)

平成10年3月(通信指令室増改築)

平成25年7月(全面増改築) 増築面積: 362.47m²

職員の配置状況

令和6年4月1日現在

階級 所属	合計	階級							
		消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
合計	202	1	1	10	21	51	28	20	70
消防本部	25	1	1	4	6	9	1	3	
宮古消防署	54			2	4	11	9	7	21
田老分署	13				1	4	2	1	5
田野畑分署	16				1	4	2	1	8
新里分署	13				1	4	2	1	5
川井分署	16				1	4	2	1	8
山田消防署	33			2	4	7	5	3	12
岩泉消防署	32			2	3	8	5	3	11

岩手県消防学校教育派遣状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

教育 所属	合計	初任教育	幹部教育		専科教育				特別教育		
			上級	初中級	警防科	火災調査	救助科	救急科	無線通信	女性活躍推進	土砂災害活動
合計	36	6	2	3	3	3	5	7	2	2	3
消防本部	9	6	1	1		1					
宮古消防署	11			1	1	1	2	3	1	1	1
田老分署	0										
田野畑分署	0										
新里分署	0										
川井分署	0										
山田消防署	10		1		1	1	2	2	1	1	1
岩泉消防署	6			1	1		1	2			1

消防大学校及び救急救命士教育派遣状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

教育 所属	合計	消防大学校		東京研修所	九州研修所	高度救命救急センター	岩手医大	県立病院			
		総合教育		養成研修	指導救命士	就業前研修	気管挿管新規養成	就業前研修	就業中再教育	気管挿管再教育	
		上級幹部科	幹部科	教育							
合計	40	0	1	0	2	0	2	2	2	24	7
消防本部	0										
宮古消防署	12				1		1	1	1	7	1
田老分署	2									2	
田野畑分署	3									3	
新里分署	5				1					2	2
川井分署	3									2	1
山田消防署	7							1	1	4	1
岩泉消防署	8		1					1		4	2

階 級 別 年 齢

令和6年4月1日現在

階 級 年 齢	合計	消 防 吏 員							
		消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
計	202	1	1	10	21	51	28	20	70
20歳未満	6								6
20～25歳未満	24								24
25～30歳未満	42							2	40
30～35歳未満	28						11	17	
35～40歳未満	28					10	17	1	
40～45歳未満	16					16			
45～50歳未満	26				7	19			
50～55歳未満	20			3	12	5			
55歳以上	12	1	1	7	2	1			
平均年齢	36.8	58.0	58.0	56.0	51.7	44.2	35.0	31.7	24.5

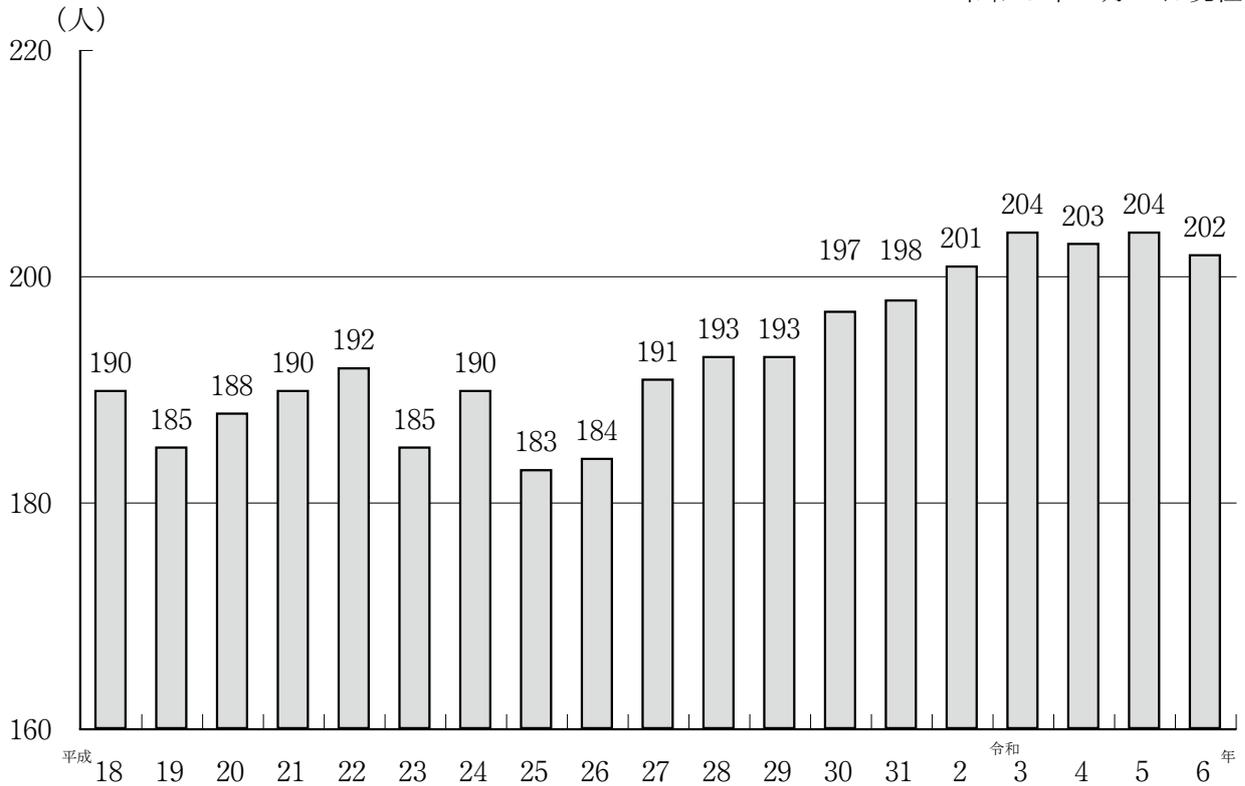
勤 続 年 数

令和6年4月1日現在

階 級 年 齢	計	消 防 吏 員							
		消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
計	202	1	1	10	21	51	28	20	70
1年未満	7								7
1～5年未満	21								21
5～10年未満	42							3	39
10～15年未満	30						11	16	3
15～20年未満	26					8	17	1	
20～25年未満	17					17			
25～30年未満	21				2	19			
30～35年未満	25			2	17	6			
35年以上	13	1	1	8	2	1			
平均年数	16.8	40.0	40.0	37.0	31.6	24.6	15.0	11.6	5.2

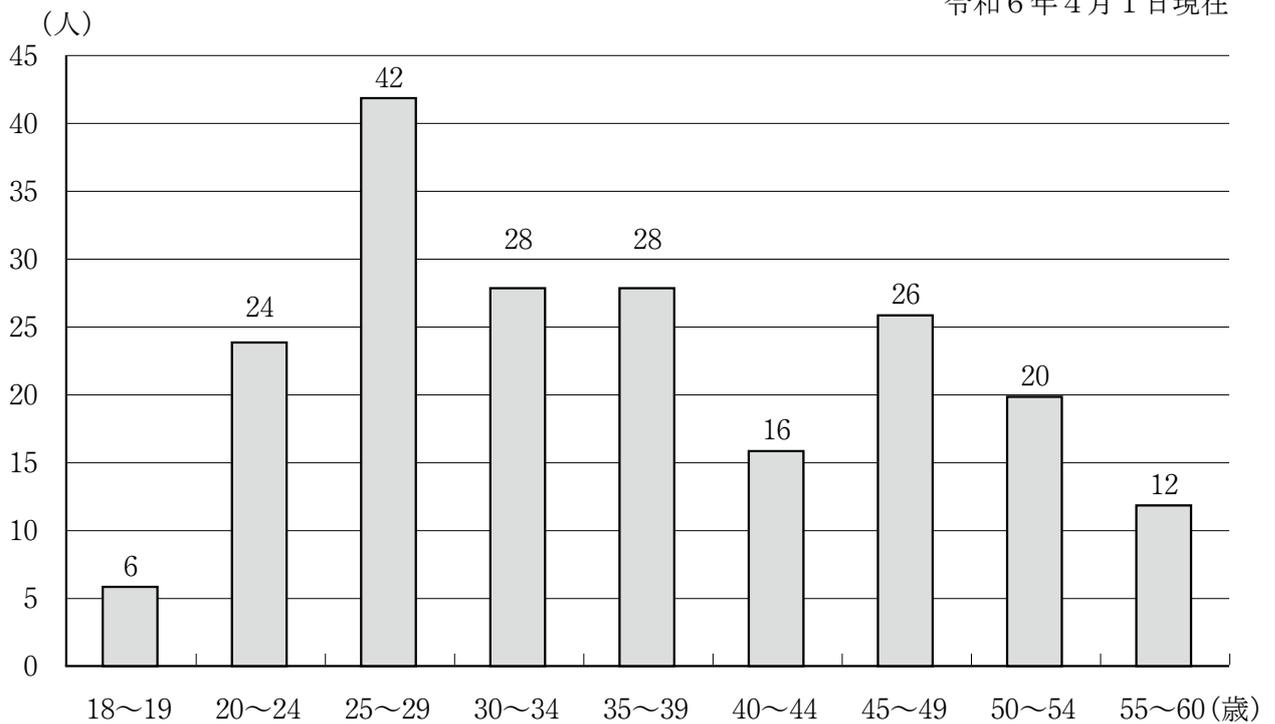
年度別消防職員数の推移

令和6年4月1日現在



職員の年齢構成

令和6年4月1日現在



消防職員技術資格取得状況

令和6年4月1日現在

免許等の区別		階 級 別						合 計
		以 消防 司令 上長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
自動車関係	大型自動車 (第1種)	12	21	45	18	13	25	134
	中型自動車			6	19	9	5	39
	準中型自動車			1	1	2	11	15
	普通自動車 (第1種)	12	21	51	28	20	70	202
救急・救助	救急救命士	5	8	24	13	4	5	59
	指導救急救命士		1	4				5
	救急資格者 (Ⅱ課程)	2	1	2				5
	救急標準課程	9	20	48	26	20	28	151
	応急手当指導員	12	21	51	28	20	32	164
	玉掛技能	9	14	44	21	6	1	95
	移動式クレーン	9	13	44	20	11	2	99
	ガス溶接技能	10	10	38	16	2	1	77
	小型船舶操縦士	3	5	9	7	4	9	37
	赤十字水上安全法指導員	1						1
	赤十字水上安全法救助員Ⅰ	1		3	3			7
	赤十字水上安全法救助員Ⅱ	1		2				3
	潜水士	1		7	1	1		10
	レスキュー3テクニカルロープレスキュー	1	1	9	4	4	4	23
無人航空機(ドローン)基礎講習		1	10	3	1		15	
無線	特殊無線技士 (陸上)	10	19	45	28	20	63	185
危険物	危険物取扱者 (乙)	2	3	15	12	8	17	57
	危険物取扱者 (丙)	2	2	6	3	1	1	15
	毒物劇物取扱者			2				2
予防技術	防火查察		4	12	7	4	12	39
	消防用設備等		1	8	2	4	4	19
	危険物		1	4	3	2	4	14
その他	消防設備士 (甲)			3	1		1	5
	消防設備士 (乙)	3		7	3			13
	衛生管理者	2	2					4

VI 通 信

防火対象物の現況

令和6年4月1日現在

用途		市町村別	政令防火対象物数				
			計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合計			2,686	1,760	416	329	181
(1)	イ	劇場等	8	6	1	1	
	ロ	公会堂等	133	71	22	25	15
(2)	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等	6	4	1	1	
	ハ	性風俗店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
(3)	イ	料理店等	1	1			
	ロ	飲食店等	41	31	5	2	3
(4)		百貨店等	116	80	19	14	3
(5)	イ	旅館等	47	25	8	9	5
	ロ	共同住宅等	501	406	62	28	5
(6)	イ	病院等	44	36	4	3	1
	ロ	老人福祉施設等	52	33	10	6	3
	ハ	老人デイサービスセンター等	85	60	9	13	3
	ニ	幼稚園等	5	4	1		
(7)		学校	65	49	6	8	2
(8)		図書館等	11	5	2	3	1
(9)	イ	特殊浴場					
	ロ	一般浴場	4	4			
(10)		停車場	3	1			2
(11)		神社寺院等	45	29	7	8	1
(12)	イ	工場等	450	258	113	52	27
	ロ	テレビスタジオ等					
(13)	イ	駐車場等	28	12	5	8	3
	ロ	航空機格納庫					
(14)		倉庫	269	186	36	30	17
(15)		事務所等	507	264	81	78	84
(16)	イ	特定複合用途	170	122	15	28	5
	ロ	非特定複合用途	95	73	9	12	1
(17)		文化財					
(18)		アークード					

消防用設備等設置状況

令和6年4月1日現在

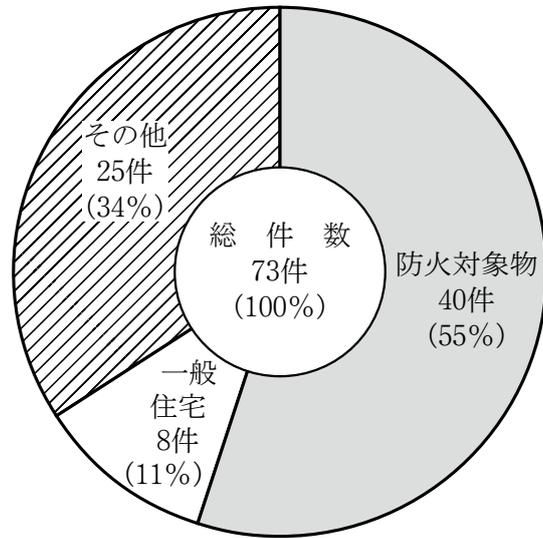
消防用設備等 用途	消 火 設 備					警 報 設 備			避 難 設 備		消 防 用 水	・連 散結 水送 設水 備管	排 煙 設 備
	屋 内 消 火 栓	設 ス プ リ ン ク ラ ー 備	消 水 火 設 噴 備 等 霧	屋 外 消 火 栓	動 力 消 防 ポ ンプ	設 自 動 火 災 報 備 知	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯			
合 計	202	79	10	13	12	978	40	304	160	920	1	13	2
(1)	イ	1	1			5		5		8			
	ロ	9	1			53	6	104	9	121			1
(2)	イ												
	ロ					6		5	1	6			
	ハ												
(3)	イ					1			1	1			
	ロ					15	1	18	5	52			
(4)	9	4	4			70	2	26	1	118			
(5)	イ	14	3			67	3	10	10	48		5	
	ロ	3				69	7	4	59	7		1	
(6)	イ	3	12	1		29		9	11	44		1	
	ロ	12	50			52		3	6	52			
	ハ	2				66	9	3	3	85			
	ニ	1				5			2	5			
(7)	45			1		60		3	15	31			
(8)	1					9		3		5			
(9)	イ												
	ロ					1	3			2			
(10)										1			
(11)	1					5	3	23		6			
(12)	イ	41		1	10	6	186		3	36	1		
	ロ												
(13)	イ			2			9			1			
	ロ												
(14)	10				6	62				10			
(15)	32		1	1		83	1	39	8	87		2	
(16)	イ	13	8	1	1	111	4	37	25	174		4	1
	ロ	5				13	1	9	4	19			
(17)													
(18)													

用途別建築同意処理状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

用途		市町村別				
		計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合計		73	50	12	10	1
(1)	イ	劇場等				
	ロ	公会堂等	1		1	
(2)	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連店舗				
	ニ	カラオケボックス等				
(3)	イ	料理店等				
	ロ	飲食店等				
(4)		百貨店等	4	1	3	
(5)	イ	旅館等				
	ロ	共同住宅等	3		2	1
(6)	イ	病院等	2	2		
	ロ	老人短期入所施設等				
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	2		
	ニ	幼稚園等				
(7)		学校	3	1	2	
(8)		図書館等				
(9)	イ	特殊浴場				
	ロ	一般浴場				
(10)		停車場				
(11)		神社寺院等				
(12)	イ	工場等	7	7		
	ロ	テレビスタジオ等				
(13)	イ	駐車場等	1			1
	ロ	航空機格納庫				
(14)		倉庫	6	5		1
(15)		事務所等	9	6	1	1
(16)	イ	特定複合用途	2	1	1	
	ロ	非特定複合用途				
専用住宅		8	8			
その他		25	17	3	5	

用途別建築同意件数



過去5年間の建築同意の推移

市町村別	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計		131	118	100	93	73
宮古市		62	53	64	64	50
山田町		49	39	17	15	12
岩泉町		15	20	17	11	10
田野畑村		5	6	2	3	1

危険物施設の現況

令和6年4月1日現在

市町村別	製造所等の別 計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計	393		269	26	35	3	94		101	10	124	67	1			56
宮古市	243		169	16	22	3	61		63	4	74	34	1			39
山田町	57		34	4	7		9		10	4	23	13				10
岩泉町	67		47	5	5		16		20	1	20	14				6
田野畑村	26		19	1	1		8		8	1	7	6				1

危険物施設の査察実施状況

年度別	製造所等の別 計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
令和5年度	338		233	23	19		61		122	8	105	73				32
令和4年度	337		231	24	23	1	58		122	3	106	71				35

危険物関係事務処理状況

区分	合計	申請								届出				
		小計	設置許可申請	設置完成検査申請	変更許可申請	変更完成検査申請	タンク検査申請	仮使用承認申請	仮貯蔵(取扱)承認申請	小計	保安監督者選任	保安監督者解任	廃止届	譲渡引渡届
令和5年度	86	38	3	4	10	11		4	6	48	13	13	20	2
令和4年度	112	50	4	3	17	16		8	2	62	19	19	20	4

危険物関係手数料徴収状況

単位：円

区分	令和5年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額
合計	40	475,600	50	717,000
設置許可	3	65,000	4	117,000
変更許可	10	192,000	17	338,000
タンク検査				
設置完成	4	39,000	3	52,000
変更完成	11	109,000	16	156,000
仮貯蔵(承認)			2	10,800
仮取扱(承認)	6	27,000		
仮使用(承認)	4	21,600	8	43,200
完成検査前検査	2	22,000		

※令和4年度の仮取扱(承認)のうち1件は手数料を減免措置

V 警 防

管内消防力の現況

区 分		単位	令和6年4月 1日現在(a)	令和5年4月 1日現在(b)	(a)-(b)		
消防職員・団員	消防本部・署	消防本部	本部	1	1	0	
		消防署	署	3	3	0	
		消防分署	分署	4	4	0	
		消防職員(条例定数)	人	253	253	0	
		消防吏員(実員)	"	202	204	△ 2	
		その他の職員	"	0	0	0	
	消防団	消防団	団	4	4	0	
		消防分団	分団	70	70	0	
		消防団員(条例定数)	人	2,457	2,457	0	
		消防団員(実員)	"	1,833	1,868	△ 35	
	消防車両等	消防本部・署	消防ポンプ車	台	5	5	0
			水槽付消防ポンプ車	"	7	7	0
化学消防ポンプ車			"	1	1	0	
屈折はしご付消防自動車(25m級)			"	1	1	0	
高規格救急車			"	11	11	0	
救助工作車			"	3	3	0	
小型動力ポンプ付水槽車			"	2	2	0	
指揮車			"	3	3	0	
資機材搬送車			"	4	4	0	
指導車・指令車			"	8	8	0	
広報車			"	2	2	0	
人員輸送車			"	1	1	0	
ボートトレーラー			"	2	2	0	
小型動力ポンプ			"	6	6	0	
消防団		消防ポンプ車	台	81	81	0	
		小型動力ポンプ	"	120	120	0	
		小型動力ポンプ積載車	"	58	58	0	
		指揮車等	"	7	7	0	
消防水利	消防水利	個	1,826	1,829	△ 3		
	消防栓	"	988	988	0		
	消防水槽	"	794	791	3		
	うち耐震水槽	"	208	204	4		
	その他の水利	"	44	50	△ 6		

署別消防車両等配置状況

令和6年4月1日現在

区分 署・分署別	合計	消防ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学消防ポンプ車	屈折はしご自動車付	高規格救急車	救助工作車	水小型動力ポンプ車付	指揮車	資機材搬送車	指指導令車	広報車	人員輸送車	業務車	連絡車	ボートトレーラー
合計	52	5	7	1	1	11	3	2	3	4	8	2	1	1	1	2
消防本部 宮古消防署	21	3	1	1	1	3	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
山田消防署	10	1	1			2	1	1	1	1	1					1
岩泉消防署	8	1	1			2	1		1	1	1					
田老分署	3		1			1					1					
田野畑分署	3		1			1					1					
新里分署	3		1			1					1					
川井分署	4		1			1				1	1					

署別主力機械の現況

令和6年4月1日現在

区分 署・分署別	種別及び呼称	車名等	登録 年月	ポンプ 製作会社	ポンプ形式	級別	備 考
消防本部 宮古消防署	指令車	トヨタ	H27.3				
	消防ポンプ1号車	日野	H26.3	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載
	消防ポンプ2号車【緊】	日野	H30.2	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載【緊】
	消防ポンプ3号車【緊】	日野	H30.2	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載【緊】
	水槽付消防ポンプ車	日野	H23.2	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	化学消防ポンプ車	日野	R2.3	日本機械	2段タービン	A-2	水1,500ℓ 薬剤500ℓ
	屈折はしご付消防自動車	日野	R6.2				25m級
	小型動力ポンプ付水槽車	いすゞ	H22.2	トーハツ	1段タービン	B-2	水 9,000ℓ
	救助工作車【緊】	日野	R3.1				Ⅱ型【緊】
	救急1号車	トヨタ	R2.1				高規格救急車
	救急2号車	トヨタ	R4.2				高規格救急車
	救急3号車【緊】	トヨタ	R4.2				高規格救急車【緊】
	資機材搬送車【緊】	いすゞ	H31.2				パワーゲート・幌掛装置付【緊】
	指揮車	トヨタ	H24.3				
	指導車	トヨタ	H28.12				
	広報車	ニッサン	H21.8				
	査察広報車	トヨタ	H12.1				全国消防長会より寄贈(東京消防庁)
	業務車	トヨタ	H22.7				ハイブリッド車
	人員輸送車	トヨタ	H29.1				29人乗り
	多目的車	ホンダ	H30.4				(株)オノデラサイン寄贈軽自動車
ボートトレーラー	SOREX	R3.9				最大積載量400kg	
山田消防署	消防ポンプ車	日野	H30.2	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載
	水槽付消防ポンプ車【緊】	日野	R2.2	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ【緊】
	小型動力ポンプ付水槽車	日野	H29.3	トーハツ	1段タービン	B-2	水 9,000ℓ
	救助工作車	日野	H31.3				Ⅱ型
	救急1号車	トヨタ	R5.3				高規格救急車
	救急2号車【緊】	トヨタ	H30.3				高規格救急車【緊】
	資機材搬送車	いすゞ	H24.3				パワーゲート付
	指揮車	ニッサン	H24.3				
岩泉消防署	指導車	トヨタ	H24.2				
	ボートトレーラー	SOREX	R3.9				最大積載量400kg
	消防ポンプ車【緊】	日野	R2.2	日本機械	2段タービン	A-2	電動式ホースレイヤー積載【緊】
	水槽付消防ポンプ車	日野	R6.2	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,200ℓ
	救助工作車	日野	H29.3				Ⅱ型
	救急1号車	トヨタ	R3.1				高規格救急車
	救急2号車【緊】	トヨタ	H27.2				高規格救急車【緊】
	資機材搬送車	いすゞ	H26.3				パワーゲート付
田老分署	指導車	マツダ	H22.1				
	指揮車	トヨタ	H28.2				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H22.10	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
	水槽付消防ポンプ車	いすゞ	H24.3	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
田野畑分署	救急車	トヨタ	R6.1				高規格救急車
	指導車	マツダ	H24.1				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H23.11	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
	水槽付消防ポンプ車	日野	H29.1	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
新里分署	救急車	トヨタ	R5.3				高規格救急車
	指導車	マツダ	H23.10				
	小型動力ポンプ	トーハツ	R1.9	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
	水槽付消防ポンプ車	日野	H23.2	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
川井分署	救急車	トヨタ	R5.3				高規格救急車
	指導車	マツダ	H26.2				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H18.12	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
	水槽付消防ポンプ車	日野	R5.8	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
川井分署	救急車	トヨタ	H31.1				高規格救急車
	指導車	マツダ	H22.12				
	資機材搬送車	いすゞ	H31.2				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H23.8	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル

【緊】印は、緊急消防援助隊登録車両を表す。

市町村別消防水利の現況

令和6年4月1日現在

区分		市町村別	合計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合計(A)+(B)+(C)			1,826	1,010	337	350	129
消 火 栓	小計(A)		988	581	200	161	46
	公設		988	581	200	161	46
	私設						
防 火 水 槽	小計(B)		794	407	127	177	83
	公設		794	407	127	177	83
	うち耐震水槽		208	83	46	22	57
	私設						
そ の 他	小計(C)		44	22	10	12	
	河川・溝等						
	海・湖		7	7			
	プール		36	15	10	11	
	濠・池等		1			1	
	下水道						
	井戸						
	その他						
水 利	基準数		1,842	998	325	352	167
	※現有数		1,571	838	285	335	113
	充足率		85.3%	84.0%	87.7%	95.2%	67.7%

※「現有数」は、基準数を基に算出した水利の数であり、現況とは異なる値となっている。

VI 通 信

通信施設配置状況

令和6年4月1日現在

	区 分	計	配 置 場 所							
	デジタル無線通信施設	固定多重無線局	2	消防本部、十二神						
基地局		6	十二神、高德、天ヶ森、平津戸、小松山、毛無森							
簡易基地局		5	釜津田、大川、安家、大平、弁天崎							
			消 防 本 部	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 分 里 署	川 井 分 署
車載移動局		50		20	9	8	3	3	3	4
携 帯 局		67	6	17	12	12	5	5	5	5
卓上固定移動局		7		1	1	1	1	1	1	1
V S A T 可 搬 局		3		1	1	1				
アナログ無線通信		基地局	1	消防本部（防災相互連絡波）						
			消 防 本 部	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 分 里 署	川 井 分 署
	車載移動局	1		1						
区 分	計	消 防 本 部	宮 古 消 防 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 分 里 署	川 井 分 署	
通信指令施設	1	1								
火災報知専用電話回線数	5	5								
火災問合せ専用電話回線数	5	5								
一般加入電話回線数	13	1	3	3	2	1	1	1	1	
F A X 回 線 数	10	3	1	1	1	1	1	1	1	
内 線 電 話	108	17	16	17	16	8	11	7	16	
地上系携帯電話	9	2	1	1	1	1	1	1	1	
地上系携帯電話(車載)	11		3	2	2	1	1	1	1	
衛星系携帯電話	8	1	1	1	1	1	1	1	1	
衛星系携帯電話(車載)	12		4	2	2	1	1	1	1	
衛星トランシーバー	3	3								
サイレン吹鳴装置	7		1	1	1	1	1	1	1	

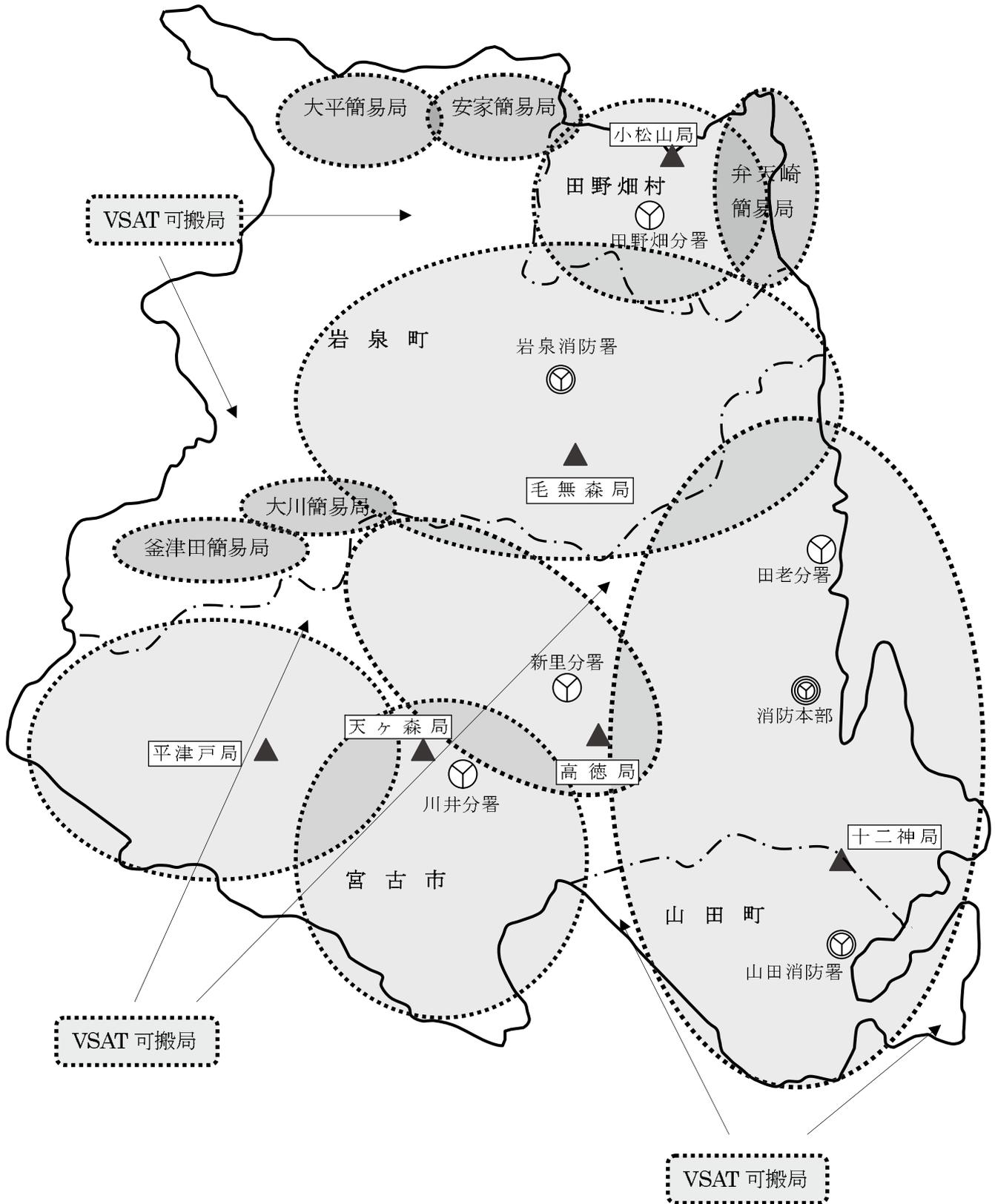
※ 火災報知専用電話及び一般加入電話は契約回線数を計上している。

※ サイレン吹鳴装置は、市町村より委託されているもの。

令和5年中 管轄所属・回線別災害等通報状況

管轄所属	回線種別	災害受信件数					災害以外の受信件数					計
		火災	救急	救助	警戒	調査	問合せ	間違い	いたずら	試験訓練	その他	
宮古消防署	固定119	3	724	2		4	1	32	6	191	103	1,066
	I P 119		288					8		26	14	336
	携帯119	6	843	6		5		173		13	109	1,155
	加入電話	2	237	5		9				2		255
	その他	1	8							4	3	16
	小計	12	2,100	13	0	18	1	213	6	236	229	2,828
山田消防署	固定119	1	235			3		7		43	30	319
	I P 119		80					3		9	8	100
	携帯119	5	346	2		3		51		15	51	473
	加入電話	1	114	1		5						121
	その他		6									6
	小計	7	781	3	0	11	0	61	0	67	89	1,019
岩泉消防署	固定119		149			1		11		23	18	202
	I P 119		49					1		4	1	55
	携帯119	2	114	2			1	24		5	16	164
	加入電話	2	120	1		3						126
	その他		7									7
	小計	4	439	3	0	4	1	36	0	32	35	554
田老分署	固定119		51			1		2		20	13	87
	I P 119		34							5	2	41
	携帯119		55	1				6		1	9	72
	加入電話	1	45	1		1						48
	その他		5							2	1	8
	小計	1	190	2	0	2	0	8	0	28	25	256
田野畑分署	固定119		42	1				3		10	16	72
	I P 119		15							6	2	23
	携帯119	2	54	1				6		8	5	76
	加入電話		30			5						35
	その他		8								1	9
	小計	2	149	2	0	5	0	9	0	24	24	215
新里分署	固定119		45	1						27	3	76
	I P 119		18	1						2	1	22
	携帯119	1	42				1	8		1	5	58
	加入電話		54			4						58
	その他		8									8
	小計	1	167	2	0	4	1	8	0	30	9	222
川井分署	固定119	1	55	1						59	45	161
	I P 119		13	1						4		18
	携帯119	1	34	1				10		3	10	59
	加入電話	1	38									39
	その他		3									3
	小計	3	143	3	0	0	0	10	0	66	55	280
管轄外	固定119											0
	I P 119											0
	携帯119		7									7
	加入電話											0
	その他											0
	小計	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
不明	固定119										3	3
	I P 119							1				1
	携帯119							14			4	18
	加入電話											0
	その他											0
	小計	0	0	0	0	0	0	15	0	0	7	22
計	固定119	5	1,301	5	0	9	1	55	6	373	231	1,986
	I P 119	0	497	2	0	0	0	13	0	56	28	596
	携帯119	17	1,495	13	0	8	2	292	0	46	209	2,082
	加入電話	7	638	8	0	27	0	0	0	2	0	682
	その他	1	45	0	0	0	0	0	0	6	5	57
	小計	30	3,976	28	0	44	3	360	6	483	473	5,403

デジタル無線基地局・簡易基地局等エリア概略図



気象予警報・津波予報等発表状況

(令和5年中)

警報・注意報種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
特別警報	波浪												0	
	大雨												0	
	大雪												0	
	暴風												0	
	暴風雪												0	
	高潮												0	
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
警報	波浪							1					1	
	大雨						3	7	2	1			13	
	洪水							4					4	
	大雪												0	
	暴風									1	1		2	
	暴風雪	2											2	
高潮												0		
小計	2	0	0	0	0	0	3	12	2	2	1	0	22	
注意報	乾燥	5	7	4	5	1						2	24	
	強風	6	6	5	12	3	3	2	2	3	8	8	11	69
	大雨				1	1	4	7	15	7	3	1	1	40
	洪水						1	3	10	4	2	1		21
	波浪	4	6	3	6	4	2	1	5	3	5	3	6	48
	高潮	1					1	1	1	5	2			11
	濃霧	2	1	3	4	7	7	6	3	7	10	7	2	59
	大雪	3	5										2	10
	風雪	6	5									2	5	18
	着雪	2	4										2	8
	融雪													0
	低温	2	2											4
	なだれ		2	1										3
霜			1	13	7					5			26	
雷		1		1	4	8	8	14	15	10	5	1	67	
小計	31	39	17	42	27	26	28	50	44	45	27	32	408	
情報	台風							4					4	
	大雨					14	29	49	27	5	2		126	
	大雪	2	2										4	
その他	4			4	5	9	4	22	1	9	7		65	
小計	6	2	0	4	5	23	33	75	28	14	9	0	199	
土砂災害警戒情報							2	6					8	
火災気象通報	14	16	12	22	6	2	1	2	1	4	12	12	104	
合計	53	57	29	68	38	51	67	145	75	65	49	44	741	
大津波警報													0	
津波警報													0	
津波注意報													0	
津波予報	1				2		2					6	11	
小計	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	6	11	
津波情報													0	
地震情報	20	19	12	21	20	22	10	23	14	14	19	31	225	
合計	21	19	12	21	22	22	12	23	14	14	19	37	236	

- 気象予警報は、令和5年に『宮古地域』を対象に発表されたものを計上している。
- 気象情報のその他は、強風、暴風、雷、突風、高波、暴風雪、低温、黄砂等の岩手県気象情報を計上している。
- 大雨特別警報・大雨警報の発表回数に関して、土砂災害と浸水害を区別しない。
- 津波警報等、津波情報、地震情報については、令和5年に岩手県を対象に発表されたもの。

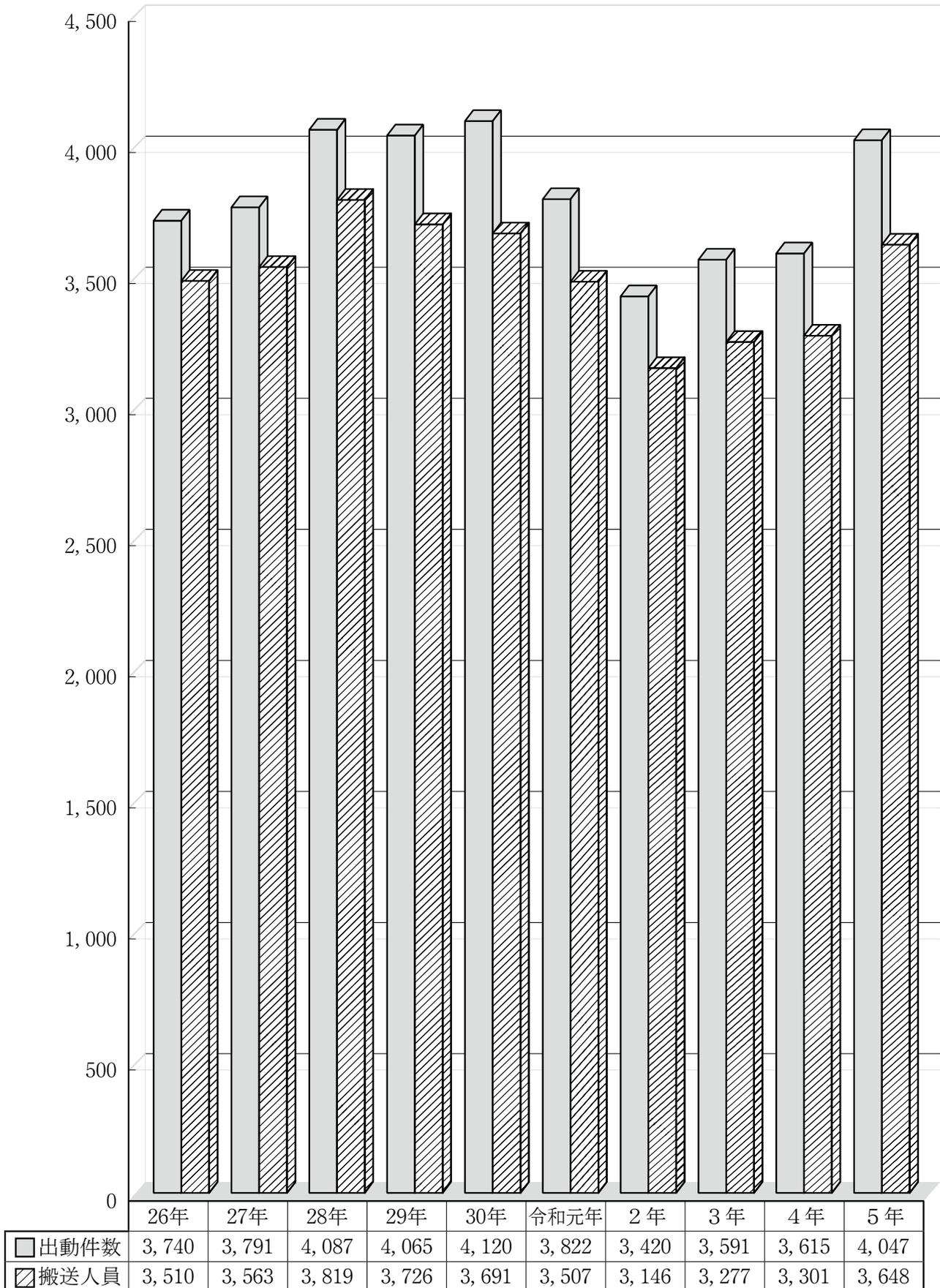
VII 救 急
救 助

月別救急活動状況

(令和5年中)

月別	事故種別 出動・搬送別	合計	救急事故種別											不 搬 送
			火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
計	出動件数	4,047	9		9	114	19	21	496	7	26	3,023	323	419
	搬送人員	3,648	8		6	103	17	19	442	5	17	2,721	310	
1月	出動件数	349			1	15	1		36	1	4	263	28	51
	搬送人員	303				13	1		32	1	1	227	28	
2月	出動件数	311	5			5	2	2	34		1	231	31	30
	搬送人員	282	5			4	2	1	32		1	206	31	
3月	出動件数	306				3		2	48		3	225	25	21
	搬送人員	286				1		2	45		3	210	25	
4月	出動件数	277	1		2	9	2	1	32	1	1	200	28	24
	搬送人員	256	1		1	10	2	1	30	1	1	185	24	
5月	出動件数	305	1		1	5		1	35		4	231	27	27
	搬送人員	278				4		1	32		1	213	27	
6月	出動件数	289	1		1	6	2	1	38		2	220	18	24
	搬送人員	266	1		1	6	1	1	32		1	209	14	
7月	出動件数	346				11	2	1	45	1		253	33	23
	搬送人員	325				13	2	1	39	1		236	33	
8月	出動件数	500	1		2	14	1	6	55	1	1	392	27	55
	搬送人員	449	1		3	12	1	6	50		1	348	27	
9月	出動件数	387				14	4	1	45	3	4	288	28	49
	搬送人員	341				16	4	1	37	2	3	251	27	
10月	出動件数	345				12	2	2	37			262	30	44
	搬送人員	301				9	2	2	31			228	29	
11月	出動件数	298				7	2	3	40		2	218	26	32
	搬送人員	266				6	1	3	36		1	196	23	
12月	出動件数	334			2	13	1	1	51		4	240	22	39
	搬送人員	295			1	9	1		46		4	212	22	

救急活動の推移（過去10年間）

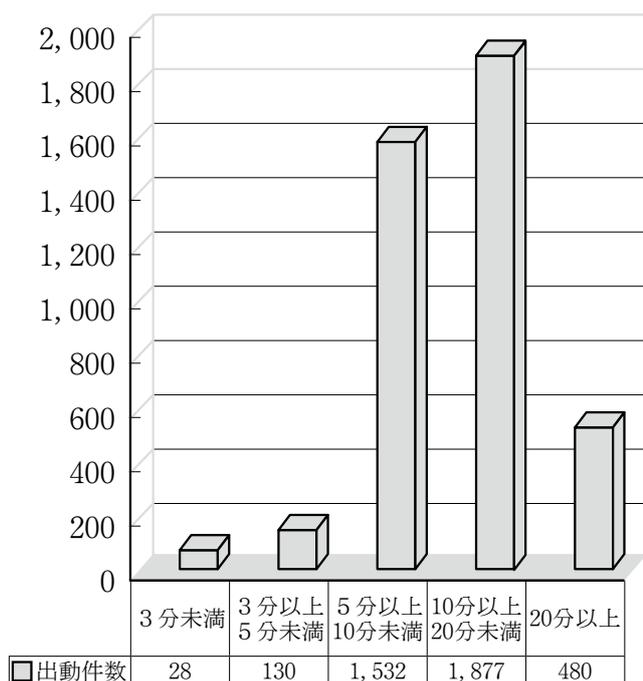


所属別救急活動状況

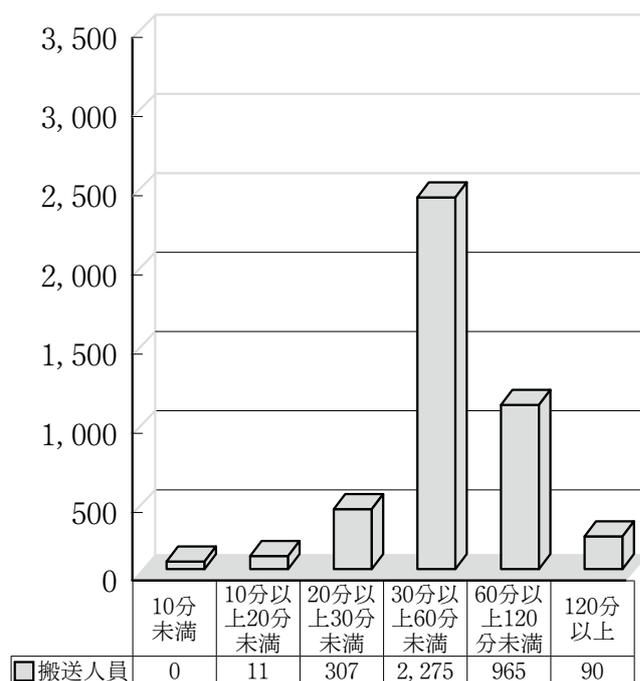
(令和5年中)

署別	事故種別 出動・搬送別	合計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	出動件数	4,047	9	0	9	114	19	21	496	7	26	3,023	323
	搬送人員	3,648	8	0	6	103	17	19	442	5	17	2,721	310
宮古消防署	出動件数	2,146	7		8	51	3	15	289	5	20	1,567	181
	搬送人員	1,932	7		5	41	2	12	255	3	15	1,417	175
山田消防署	出動件数	786			1	25	3	6	91	1	3	599	57
	搬送人員	715			1	27	3	7	80	1	1	543	52
岩泉消防署	出動件数	381	1			12	3		38			276	51
	搬送人員	346	1			9	3		35			249	49
田老分署	出動件数	258				4	2		28	1		217	6
	搬送人員	230				2	2		26	1		193	6
田野畑分署	出動件数	161				4	2		16		1	130	8
	搬送人員	137				8	2		15		1	103	8
新里分署	出動件数	175	1			7	2		21		1	134	9
	搬送人員	165				8	2		20			126	9
川井分署	出動件数	140				11	4		13		1	100	11
	搬送人員	123				8	3		11			90	11

現場到着所要時間別出動状況



収容所要時間別搬送状況



時間別出動件数

(令和5年中)

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
計	9		9	114	19	21	496	7	26	3,023	311	1		11	4,047
時 間 別 内 訳	0～2			2			16		3	105	2			2	130
	2～4	1					12	1	2	126	1				143
	4～6				8		13	1		147	3			2	174
	6～8				4	2	49	1	2	272	7			1	338
	8～10	1		2	15	4	2	65		3	413	57	1		564
	10～12	1		2	14	5	8	62	1	2	361	81			537
	12～14	3			18	3	6	66		2	325	51			475
	14～16			1	20	4	2	53		1	276	58			418
	16～18			1	16	1	1	52		3	313	30			418
	18～20	2			17			47	2	5	294	11			378
	20～22	1					2	40		2	227	7			279
	22～24			3				21	1	1	164	3			193

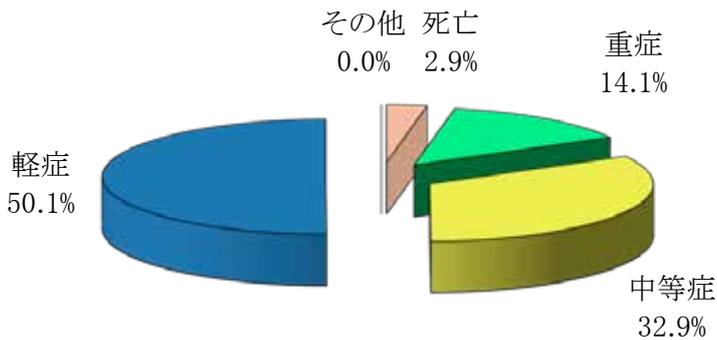
時間別搬送状況

(令和5年中)

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計	
													計
時 間 別 内 訳	0～2			1			15		1	92	2	111	
	2～4	1					8	1	2	118	1	131	
	4～6				8		11	1		133	3	156	
	6～8				3	2	45	1	1	237	7	296	
	8～10			1	11	4	3	62		1	370	57	509
	10～12	1		1	11	4	6	55		1	323	81	483
	12～14	2			15	3	6	63		1	299	49	438
	14～16				21	4	2	48		1	248	59	383
	16～18				15		1	43		3	285	30	377
	18～20	3			18			42	1	4	269	11	348
	20～22	1					1	33		1	204	7	247
	22～24			4				17	1	1	143	3	169

傷病程度別搬送人員

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
106人	514人	1,201人	1,827人	0人	3,648人



死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの

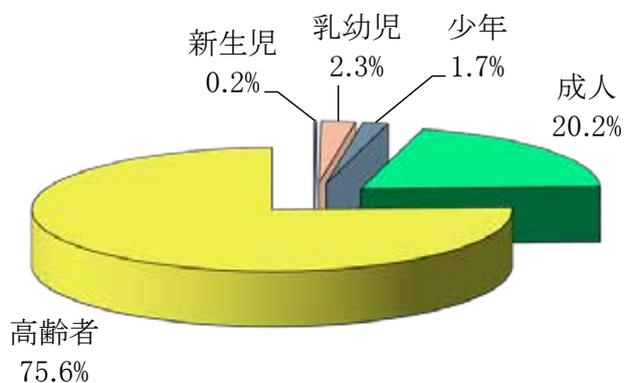
中等症：傷病の程度が入院加療を必要とするもので重症に至らないもの

軽 症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

年 齢 別 搬 送 人 員

新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
6人	84人	62人	738人	2,758人	3,648人



新生児：生後28日以内の者

乳幼児：生後29日以上満7歳未満の者

少 年：満7歳以上満18歳未満の者

成 人：満18歳以上65歳未満の者

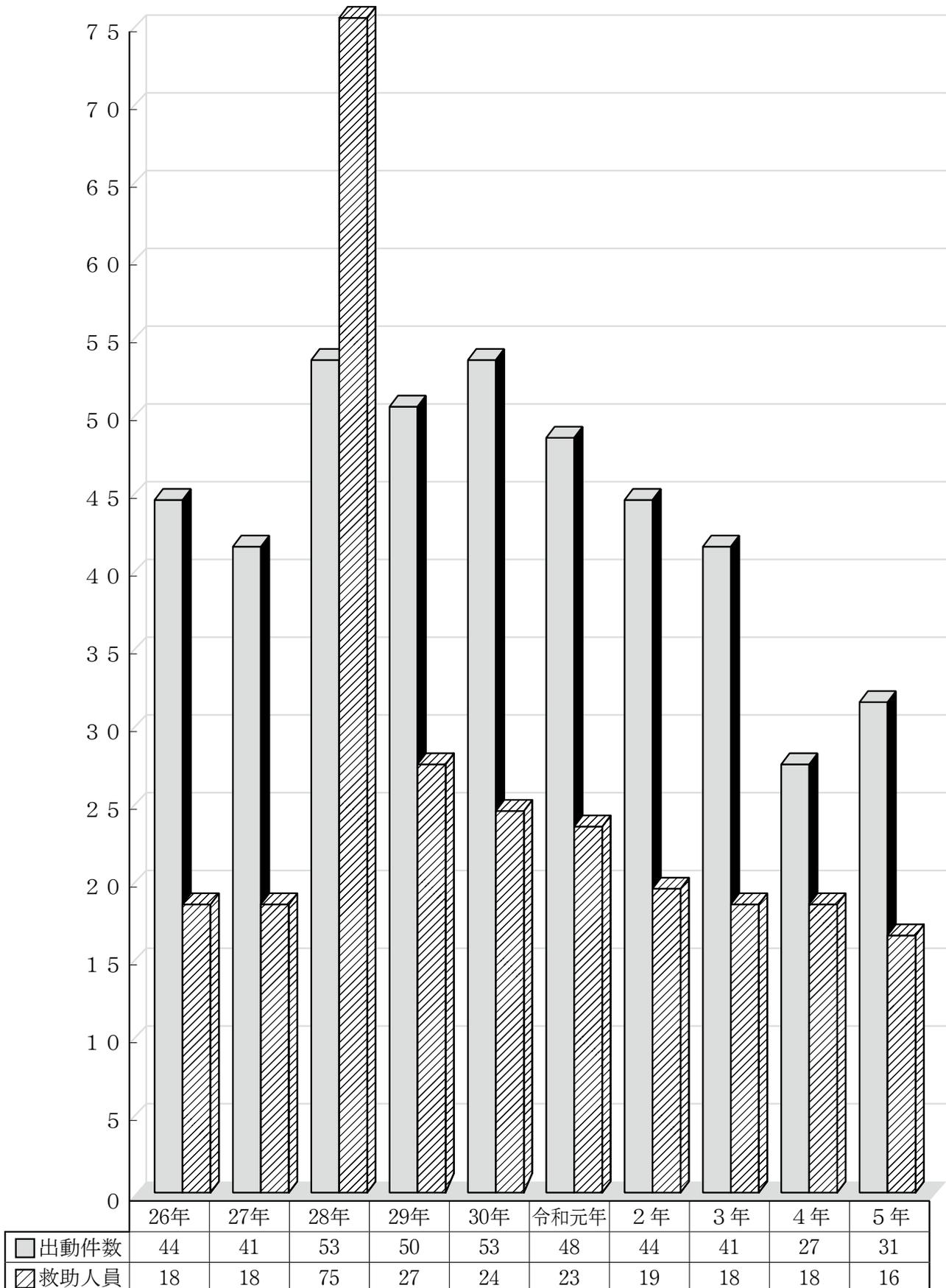
高齢者：満65歳以上の者

所属別救助活動状況

(令和5年中)

署・分署別	事故種別	計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
計	出動件数	31	0	0	15	7	0	1	0	0	0	8
	活動件数	11	0	0	6	4	0	0	0	0	0	1
	救助人員	16	0	0	8	7	0	0	0	0	0	1
宮古消防署	出動件数	14			6	6						2
	活動件数	6			2	4						
	救助人員	11			4	7						
山田消防署	出動件数	3				1						2
	活動件数	0										
	救助人員	0										
岩泉消防署	出動件数	4			3							1
	活動件数	2			1							1
	救助人員	2			1							1
田老分署	出動件数	1						1				
	活動件数	0										
	救助人員	0										
田野畑分署	出動件数	4			2							2
	活動件数	2			2							
	救助人員	2			2							
新里分署	出動件数	2			2							
	活動件数	0										
	救助人員	0										
川井分署	出動件数	3			2							1
	活動件数	1			1							
	救助人員	1			1							

救助活動の推移（過去10年間）



所属別救助出動(活動)人員状況

(令和5年中)

事故種別 署・分署別		計	火 災		交通 事故	水 難事 故	自 然 災 害	風 水 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	爆 発 事 故	事 其 他 の 事 故
			建 物	以 建 外 物										
計	出動人員	273	0	0	139	63	0	9	0	0	0	0	0	62
	活動人員	79	0	0	41	30	0	0	0	0	0	0	0	8
宮古消防署	出動人員	131			62	56								13
	活動人員	49			19	30								
山田消防署	出動人員	24				7								17
	活動人員	0												
岩泉消防署	出動人員	36			23									13
	活動人員	15			7									8
田老分署	出動人員	9						9						
	活動人員	0												
田野畑分署	出動人員	25			17									8
	活動人員	10			10									
新里分署	出動人員	17			17									
	活動人員	0												
川井分署	出動人員	31			20									11
	活動人員	5			5									

救助出動(活動)車両状況

(令和5年中)

事故種別 車両別		計	火 災		交通 事故	水 難事 故	自 然 災 害	風 水 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	爆 発 事 故	事 其 他 の 事 故
			建 物	以 建 外 物										
出 動 車 両	救 助 工 作 車	29			15	7			1					6
	消 防 ポンプ自動車	5			3				1					1
	屈折はしご付消防ポンプ車	0												
	化学消防ポンプ車	1			1									
	指 揮 車	13			2	4			1					6
	高規格救急自動車	36			20	8			1					7
	そ の 他	5				3				1				1
計	89		0	41	22	0	4	1	0	0	0	0	21	
活 動 車 両	救 助 工 作 車	8			3	4								1
	消 防 ポンプ自動車	2			2									
	屈折はしご付消防ポンプ車	0												
	化学消防ポンプ車	0												
	指 揮 車	3			1	2								
	高規格救急自動車	13			7	5								1
	そ の 他	2				1								1
計	28		0	13	12	0	0	0	0	0	0	0	3	

VIII 火 災

火 災 の 概 況

(令和5年の火災と前年比較)

		単 位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減 (A)－(B)
出 火 件 数		件	28	31	△ 3
	建 物		12	17	△ 5
	林 野		4	4	0
	車 両		2	5	△ 3
	船 舶		1	1	0
	航 空 機		0	0	0
	そ の 他		9	4	5
焼 損 棟 数		棟	19	32	△ 13
	全 焼		9	15	△ 6
	半 焼		2	1	1
	部 分 焼 や		2	8	△ 6
焼 損 面 積					
	建 物 床 面 積	m ²	779	1,002	△ 223
	建 物 表 面 積	m ²	8	55	△ 47
	林 野 面 積	a	56	629	△ 573
死 傷 者		人	10	9	1
	死 者		1	2	△ 1
	負 傷 者		9	7	2
り 災 世 帯 数		世帯	9	12	△ 3
	全 損		4	4	0
	半 損				0
	小 損		5	8	△ 3
損 害 額		千円	26,106	34,118	△ 8,012
	建 物		21,210	28,274	△ 7,064
	林 野		379	2,222	△ 1,843
	車 両		332	3,109	△ 2,777
	船 舶		1,156	490	666
	航 空 機		0	0	0
	そ の 他		3,029	23	3,006
出 火 率 (件)			3.9	4.1	△ 0.2

※その他の火災とは

空地に置かれた材木が燃えた場合、あるいは道路上に放置されたごみが燃えた場合など、建物、林野、車両、船舶、航空機の火災種別以外の火災がその他の火災として分類されます。

※火災による死者とは

火災現場において、火災により死亡した者。または、火災による負傷後48時間以内に死亡した者も死者として扱われます。消防吏員、消防団員については、火災を覚知してから火災現場を引き揚げるまでに死亡した者をいいます。

※出火率とは

人口1万人当たりの出火件数をいいます。

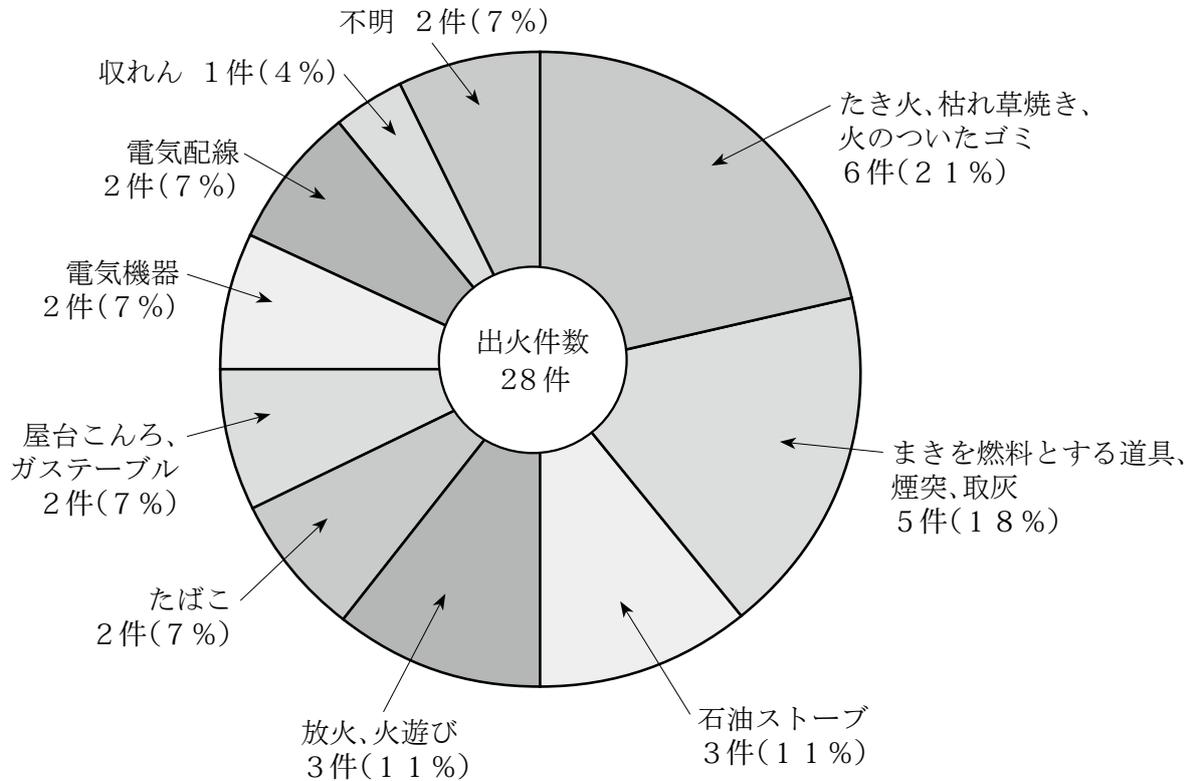
市町村別火災発生状況

(令和5年中)

区分		市町村別				
		計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
出火件数	計	28	16	5	4	3
	建物	12	5	2	3	2
	林野	4	3	1		
	車両	2	2			
	船舶	1	1			
	航空機					
	その他	9	5	2	1	1
焼損棟数	計	19	6	7	4	2
	全焼	9	4	3	1	1
	半焼	2	1	1		
	部分焼	2		2		
	ぼや	6	1	1	3	1
焼損面積	床面積(m ²)	779	496	253	13	17
	表面積(m ²)	8	1	7		
	林野(a)	56	51	5		
り災世帯数	計	9	4	2	2	1
	全損	4	3	1		
	半損					
	小損	5	1	1	2	1
死傷者	計	10	8	1	1	
	死者	1	1			
	負傷者	9	7	1	1	
損害額 (千円)	計	26,106	19,079	3,760	105	3,162
	建物	21,210	17,189	3,760	99	162
	林野	379	379			
	車両	332	332			
	船舶	1,156	1,156			
	航空機					
	その他	3,029	23		6	3,000

火災原因別出火件数

(令和5年中)



四季別火災発生件数

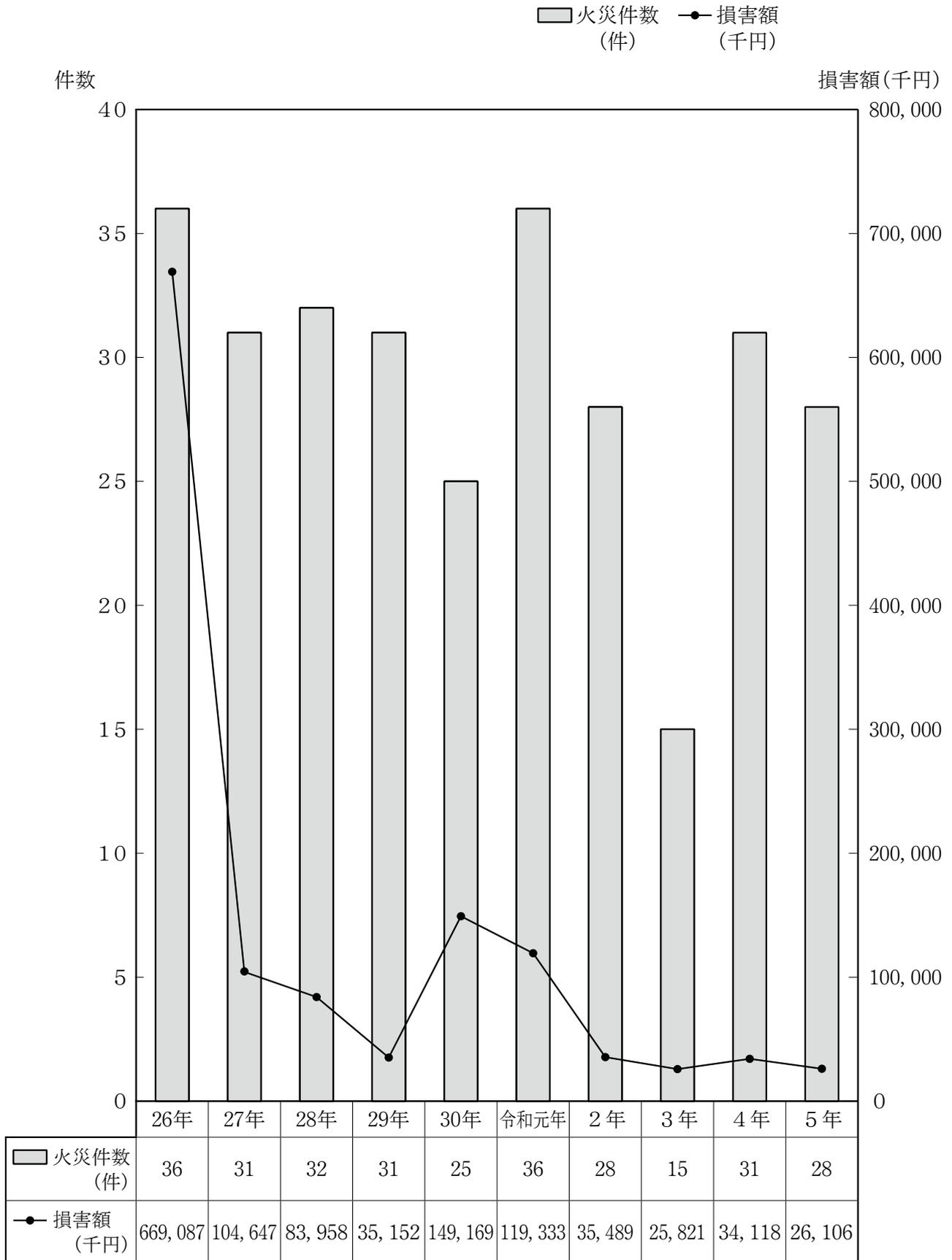
火災覚知別件数

(令和5年中)

四季別	年別	令和5年	令和4年
計		28件	31件
春 (3月～5月)		9件 32%	10件 32%
夏 (6月～8月)		7件 25%	9件 29%
秋 (9月～11月)		2件 7%	5件 16%
冬 (12月～2月)		10件 36%	7件 23%

覚知別	年別	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
計 (件)		28	12	4	2	1		9
119番	固定から	1		1				
	携帯から	15	9	2				4
加入電話	固定から	3		1		1		1
	携帯から	2	1					1
警察電話								
駆け付け								
事後聞知		5	2		1			2
その他		2			1			1

累年の火災発生件数と損害額



IX 消 防 団

広域市町村別消防力の現況

令和6年4月1日現在

種別 市町村	団員数	分団数	普通消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ	積載車 小型動力 ポンプ	資機材車 搬送車	その他の 車両
宮古市	933	45	46	57	22	0	1
山田町	274	13	13	13	0	2	2
岩泉町	459	8	16	41	24	1	3
田野畑村	167	4	6	9	9	0	1
合計	1,833	70	81	120	55	3	7

在職年数別消防団員数

令和6年4月1日現在

年齢 市町村	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
宮古市	89	131	115	120	97	85	296	933
山田町	36	43	42	46	36	28	43	274
岩泉町	25	89	58	63	64	61	99	459
田野畑村	10	14	20	27	40	24	32	167
合計	160	277	235	256	237	198	470	1,833

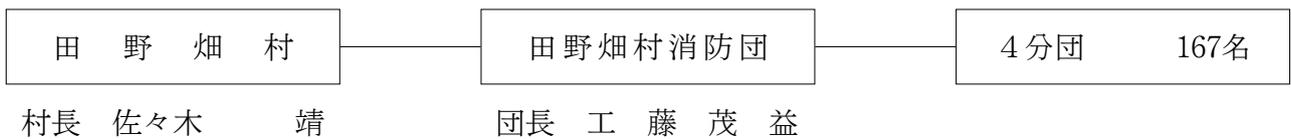
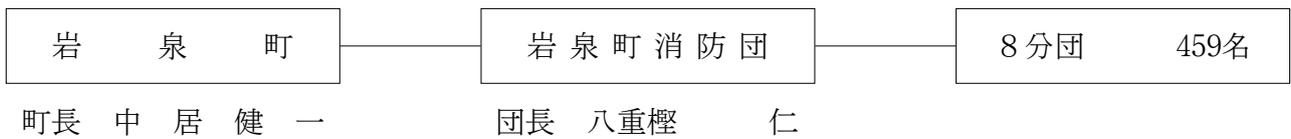
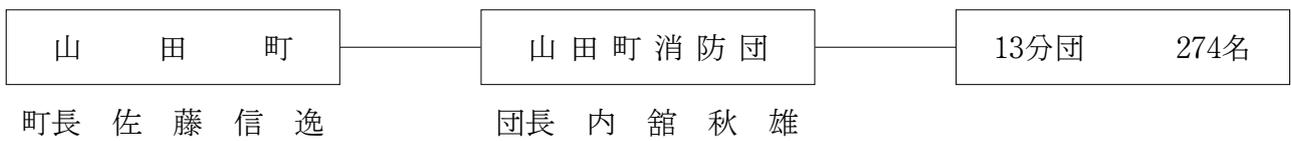
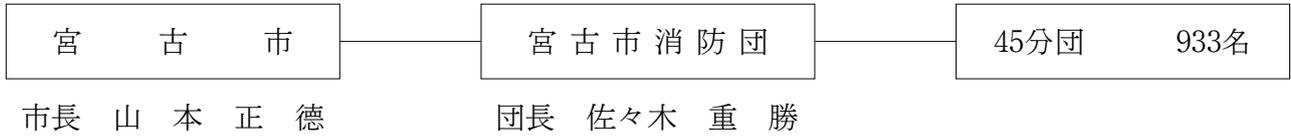
年齢別消防団員数

令和6年4月1日現在

市町村 年齢	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	計
20歳未満	0	2	0	0	2
20～24	20	17	2	0	39
25～29	36	26	13	7	82
30～34	50	19	38	10	117
35～39	73	39	51	11	174
40～44	117	40	54	19	230
45～49	133	36	60	42	271
50～54	124	44	68	21	257
55～59	108	24	60	18	210
60歳以上	272	27	113	39	451
平均	51.1	43.5	50.0	49.9	49.6

管内消防団の組織

令和6年4月1日現在



計70分団 1,833名
